



# 聖霊に関する教訓

Vol. 95, No.1

2019年1月-3月

# 目次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 1. 勇敢な指導          | 5  |
| 2. 成功のために協力する     | 10 |
| 3. 神のご臨在によりすぎる    | 15 |
| 4. エリコでの勝利        | 20 |
| 5. アイでの苦悩         | 26 |
| 6. アカン症候群         | 31 |
| 7. 祝福とのろい         | 36 |
| 8. ギベオン人を助ける      | 41 |
| 9. 神は戦闘を指揮される     | 47 |
| 10. カナンにおける初期の生活  | 52 |
| 11. 誤解を取り扱う       | 57 |
| 12. のがれの町         | 62 |
| 13. ヨシュアの最後のメッセージ | 67 |

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240 Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.94, No.4

編集&発行:  
S DA改革運動日本ミッション

〒368 - 0071  
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保  
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX : (0494) 40-1045

URL :  
<http://www.4angels.jp>

E-mail:  
[support@4angels.jp](mailto:support@4angels.jp)

イラスト : Illustrations: Good Salt on the front cover, and Google maps on pp. 4, 46, backcover.

## まえがき

わたしたちは永遠の瀬戸際にどれほど近くいるのでしょうか？この情報は死すべき肉なる人間に委ねられてはきませんでした、わたしたちのうちほとんどはこの世の歴史の最終的な諸事件が急速に近づいていること、すなわち力と栄光のうちに来られるイエスの再臨が門口まできていることには同意することでしょう。このために、世界中の安息日学校の生徒たちはヨシュア記からの教訓を考察していきます。神の忠実な僕が地上のカナンへ民を導き入れる働きを委ねられたように、わたしたちも天のカナンへ入ろうとしています。

「イスラエルの子らの歴史は、世の終わりが臨もうとしているわたしたちへの訓告と教えのために記されている。この終わりの時代に信仰のうちに堅く立ち、最終的に天のカナンへ入りたい者は、イエス・キリストがイスラエル人たちに語られた警告の言葉に耳を傾けなければならない。これらの教訓は、神の民が各世代を通じて永遠に研究し、注意を払うために、荒野にいる教会に語られたのである。荒野における神の民の経験は、この時代における神の民の経験となるであろう」（上を仰いで 232）。

「ご自分の民イスラエルを通して、神は世にご自分のみ旨についての知識を与えようと意図された。このお方の約束や恐ろしい警告、このお方の教えや譴責、従順な者への祝福や不法や背信に対する裁きにおいて、彼らの中で表されたこのお方のみ力の素晴らしい現れ—これらはみな終わりの時に至るまで、神の民の間で宗教的な原則の教育と発達となるよう意図されていた。であるから、わたしたちが自分自身でヘブルの万軍の歴史に親しみ、神が彼らをどのように扱われたかを注意深く考えることは重要である」（SDA パイプ・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 2 巻 994）。

「モーセとヨシュアの時代における宗教は、今日の宗教と同じであった」（同上）。

「神の律法と御国は地の全領域にまで及ばなければならなかった。そして神の民は生ける神の民として知られなければならなかった。…

もし神の民が全能者の陰に宿っているならば、敗北を知ることは決していないのであった。なぜなら、御使たちよりも強いお方が、すべての戦いにおいて彼らの傍らで戦われるからであった」（同上 999）。

「わたしたちの救いの将を信じる継続的な信仰と信頼がなくてはならない。わたしたちはこのお方の命令に従わなければならない。エリコの壁が崩壊したのは、命令に従った結果としてであった」（ビュー・アンド・ヘルド 1887 年 7 月 12 日）。

わたしたちが勤勉に天のカナンに入る準備をするときに、主がわたしたちを助けてくださって、これらの教訓を心にとめることができ、わたしたちの救いの将、主なるイエス・キリストの犠牲と力を通して、恵み深く導いて下さいますように！

## 第一安息日献金 ジンバブエ西フィールド本部のために

ジンバブエは南アフリカの内陸の国であり、印象的な地形と広大な鉱脈、また様々な野生動物で知られています。大河ザンベジには、自然界の七大不思議の一つであるヴィクトリアの滝があり、雷鳴のような音を鳴り響かせながらバトカ峡谷へと 108 メートル落下しています。

ジンバブエは南アフリカ、ボツワナ、ザンビア、そしてモザンビークに接しています。この国には約 1600 万人の人口があり、完全な礼拝の自由を享受しています。ジンバブエのクリスチャンの大半はプロテスタントです。教会員の多いプロテスタントのキリスト教会は、英国国教会、セブンスデー・アドベンチスト、そしてメソジスト教会です。およそ 100 万人ほどのローマ・カトリック教徒がいます。



2008 年に、2 億 3100 万パーセントの急騰という天文学的なインフレが起こり、国の通貨は完全に崩壊し、無価値になりました。経済を落ち着かせるために、政府は主たる通貨として米国ドルの使用を採択しました。

改革運動のメッセージがジンバブエに伝えられたのは 1928 年です。ソルシミッションにいた教師の T.T. ヌドルブは、自分の牧師の事務所で SDA 改革運動のレターヘッドのあった手紙を見ました。そのような組織が存在することをそれまで知りませんでしたので、彼はその住所を書き写し、ヨーロッパからの兄弟と通信を始めました。まもなく、彼は改革のメッセージを説教するようになり、ミッションから自分の故郷へと追放され、そこでアフリカにおける最初の改革運動教会の先駆者となったのです。1951 年、敵は改革運動を攻撃し、教会内に亀裂を生じさせましたが、忠実な教会員たちが再度グループを結成し、その時以来、働きは着実に発展し、一つのフィールドと一つのミッションを設立するに至りました。最近では、ジンバブエにいる兄弟たちは事業を開始し、自己犠牲を通して、教会の建物というかたちで神への祈念碑を設立するに至りました。今や、教会の事務所、幼稚園、健康センターのある本部を建設する必要があります。

世界中の兄弟姉妹友人の皆さんに、このアフリカ大陸のパイオニアである国にふさわしい大開発を完成させるために、祈りと献金をお願いいたします。

ジンバブエ西フィールドの皆さんの兄弟より



## 勇敢な指導

「すべて主を待ち望む者よ、強くあれ、心を雄々しくせよ。」(詩篇 31:24)

「もしあなたが自分の働きに自己を織り交ぜないことを決心するなら、あなたは神の理想に到達することができる。あなたが霊と働きにおいてキリストのようになるために奮闘していることを知ることは、あなたに力と慰めと勇気を与えるのである。」(福音宣伝者 164)

推奨文献： ミニストリー・オブ・ヒーリング 483 ～ 489

日曜日

12月30日

### 1. 忠実な指導者の価値

- a. モーセの死に対するイスラエル人たちの反応から、わたしたちは何を学ぶべきですか (申命記 34:7, 8; 詩篇 112:6)。

「イスラエル人は、モーセの死を深く悲しみ、30 日の間彼を記念して特別の式を行なった。彼らは、彼が取り去られるまでは、彼の賢明な勧告、父親のような柔和、不動の信仰などを十分に理解することはできなかった。彼らは、改めて深い感謝をあらわして、彼の生前の尊い教訓を思い起こした。

モーセは死んだ。しかし、彼の感化力も共に死んだのではなかった。それは、生き続けて民の心に再現されるのであった。あの聖なる無私の生活は、長く人の心におぼえられ、生前彼の言葉をないがしろにした人々の生活までも形造る無言の説得力を持っていた。」(人類のあけぼの下巻 99)

- b. 重荷を負う人々を失うことによって、わたしたちは何を考えるべきですか (詩篇 116:15)。

「重荷と日の暑さに耐えてきた人々は、負荷の下につぶされるがままに放っておかれるべきではない。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1885 年 12 月 15 日)

## 2. 感謝を培う

- a. なぜわたしたちは神を畏れる指導者たちに努めて感謝しなければならないのですか（ヘブル 13:17; テモテ第一 5:17）。

「神の選ばれた僕たちの名前は、彼らを支えるのが義務である人々によって、軽視され、時にはまったくの軽蔑をもって扱われてきた。子供たちは自分の親が神の僕たちの厳粛な譴責や警告に関して不敬な言葉を述べるのをたしかに聞いてきた。彼らは折々に自分たちの耳に入ってくる嘲笑的な冷やかしの軽蔑的な言葉を理解した。そして、彼らの思いの中で神聖な永遠の関心事が、世の通俗的な事柄の水準にまで下げられた。自分の子供たちを、幼少時においてさえ無神論者にするによって、これらの親はなんという働きをしていることであろう！このようにして、子供たちは罪に対する天の譴責に対して不遜になり、反逆するようにと教えられているのである。…

神のみ事業の機関に関わる重責を担っている人々の欠点について、それが現実であれ想像上であれ、語り、考えることに特別な喜びを見いだす人々が多くいる。彼らはみ事業への多大な努力や断固とした献身の結果となし遂げられた善や受けた恩益は見過ごし、自分たちの注意を何か目に見える過ちにしっかりと留める。すなわち、何かがなされ、結果が伴った後になって、自分たちならよりよい方法とよりよい結果をもってできたはずだと考えるが、その実、もし彼らがその働きを任されていたら、事態に伴う失望の下に全く動こうとしないか、あるいは神のみ摂理が開かれるのにしたがってその働きをなした人々よりも、さらに無分別に事態を対処したかのいずれかなのである。」（教会への証 4 巻 195, 196）

- b. わたしたちは今日、どのようにして自分たちの指導者に感謝を示すことができますか（ヘブル 12:12, 13; ヨブ 4:4）。

「語られてきた批判の言葉は、時に非常に失望的な影響を及ぼしてきた。しかし、主は繰り返し、彼らの必要において、まっすぐ前進し、自分たちの指導者なるお方に従うためのみ言葉を彼らに送られた。わたしは垂れ下がる手を上げ、弱った足を強め、忠実な働き人たちを主からの言葉をもって励ますよう命じられてきた。」（原稿別ス 6 巻 409）

### 3. モーセの後継者

- a. モーセの死後、イスラエルの目に見える指導者として、だれが任命されましたか。彼の資格は何でしたか（申命記 34:9）。

「今や、ヨシュアがイスラエルの指導者として認められた。彼は、これまで、主として軍人として知られてきており、その才能と人柄は、民の歴史のこの段階において、特に価値の高いものであった。彼は、勇気と決断力にすぐれ、忍耐強いと共に敏活、清廉で、自分にゆだねられた者たちを自分を忘れて世話し、とりわけ神に対する生きた信仰に動かされていた。これが、約束の地にはいるに際して、イスラエルの軍勢を指揮するように神から選ばれた人の特質であった。荒野を旅した間、彼はモーセに仕える首相として行動し、その静かで二心のない誠実と、他の人々が動揺したときにも堅く立ち、危険のさなかにあつて真理を維持しようとした信念の強さによって、神のみ声によってその地位に召される以前でさえ、すでにモーセの後継者としてふさわしいことが明らかであった。」（原稿リス6 巻100）

- b. どの態度が、ヨシュアの成功の第一の秘訣でしたか（イザヤ 57:15; 66:2）。

「ヨシュアは、彼の前にある仕事のことを考えたときに、大きな不安と自己に対する不信感をいだいた。」（同上）

- c. 神が提示されたご計画を説明しなさい。ヨシュアがそれを果たすことができる唯一の方法は何でしたか（ヨシュア 1:1-5, 9）。

「ヨシュアが賢明な将軍であつたのは、神が彼の導き手であられたからであつた。」（闘争と勇気 116）

「主はもしヨシュアがご自分のすべての戒めを忠実に守るのであれば、ご自分がモーセと共におられたようにヨシュアと共について、ご自分が彼にカナンをたやすく征服させると約束なさった。ヨシュアはカナンの地に民を導く自分の任務の実行に關して不安があつたが、この保証が彼の恐れを取り除いた。」（教会への証 4 巻 156, 157）

#### 4. 献身を通しての勇氣

- a. この新しい指導者に、神は繰り返し、なにをお語りになりましたか。それはなぜですか（ヨシュア 1:6, 7）。

「あなたは、もしヨシュアに誤り導く感化力の下に入れられる危険性がないのに、これらの命令が彼らに与えられたと思うであろうか。主が憐れみのうちに彼に右にも左にもそれではならないと命じられたのは、最も強力な感化力が彼の義の諸原則に対してもたらされようとしていたからであつた。彼はもっとも厳密な誠実の道をたどらなければならなかった。…もしヨシュアの前に何の危険もなかったならば、神は何度も彼に勇氣を出せとお命じになることはなかったのである。しかし、彼にはあらゆる心配事のただ中で、自分を導いて下さる自分の神がおられた。

人がどんな困難に遭っても神よりすぐれた案内を見つけ、何かの危急時において神より賢明な勧告者を見だし、どのような状況下でもこのお方より強い防御を見いだすことができると思うことほど大きな欺瞞はない。」（SDA パイブル・コメント [E・G・ホイト・コメント] 2 巻 993）

- b. 神のご計画を果たすために、ヨシュアはどのように必要なものを装備すべきでしたか（ヨシュア 1:8）。このことから、わたしたちは何を学ぶことができますか。

「聖書の宗教は奉仕において活動の諸原則を具体化する一方、同時に日々、あらゆる知恵の源であられるお方からの知恵を求める必要がある。ヨシュアの勝利は何であつただろうか。あなたは昼に夜に神のみ言葉を瞑想しなさい。…

助言者の地位にいる人々は、無我の人、信仰の人、祈りの人、あえて自分自身の人間の知恵に頼ろうとせず、かえって自分たちの事業を運営する最上の方法について、光と知性を熱心に求める人であるべきである。イスラエルの司令官であつたヨシュアは軽率に動くことがないように、モーセが神から与えられた指示—このお方のご要求、譴責、そして制約—を忠実に記録した書物を勤勉にくまなく調べた。ヨシュアは自分自身の衝動や自分自身の知恵に信頼することを恐れた。彼は、昼は雲の柱に夜は火の柱の包まれておられるキリストから来るすべてのことを、神聖に尊ばれるべきとても重要なことと考えた。」（同上 993, 994）



## 5. 価値のあるみ事業のための勇気

- a. 主のぶどう畑で自分たちの分を果たすのに勇気を出して行こうとすると、どの保証がありますか（詩篇 31:24; イザヤ 41:10）。

「旗手が弱り、倒れるとき、彼らの立場を埋めるためにだれが来るであろうか?…出て行って他の人々を啓発するために、自らを、すなわち、魂、体、霊を神に捧げる人はいないであろうか?…

真理のともしびが地の暗いところに運ばなければならない。御使たちが風を引き留めている間に、わたしたちはキリストが働かれたように働かなければならない。

…

もしわたしたちが忠誠と忍耐と愛をもって労してきたならば、今一人の働き人がいるところに百人いたことであろう。活かされなかった機会が、神に対する妬みと反逆を記録しているのと同じ書物に、わたしたちの名のところに記されている。」（ビュー・アンド・ワルド 1885 年 12 月 15 日）

「この世界は、神の大きな労働の畑である。このお方はそこに住む人々をご自分のひとり子の血によって買われた。そしてこのお方はすべての人にご自分の憐れみのメッセージが伝わるようにとのおつもりである。この働きを委ねられている人々はテストされ、試されるであろう。しかし、彼らはいつも神が自分たちを強め、支えるためにそばにいて下さることを覚えているべきである。このお方は折れた葦により頼むようにとは仰せにならない。わたしたちは人間の助けを探し求めるべきではない。神はわたしたちが神のおられるべきところに人を置くことを禁じておられる。…主なるエホバは『とこしえの力』であられる。」（キリストを映して 352）

「主にあつて勇ましくありなさい。このお方がどれほど憐れみ深く親切であるかを覚えていなさい。このお方があなたを守って下さる力はどれほど大きかったことであろう。人がなすことのできなかったことを神がしてこられた。このお方を尊びなさい。あなたとつながりのあるすべての人にとって敬神の模範となりなさい。神にすべての裁きをしていただくように。あなたの働きは神を愛し仕えることであり、他の人々にとって助けとなることである。」（原稿リース 19 巻 151）

## 個人的な復習問題

1. イスラエル人はモーセがまだ生きている間に、何を考えるべきでしたか。
2. わたしはどのようにして忠実な指導者たちの有効性を損なう危険性がありますか。
3. ヨシュアの働きのごく当初より、彼の成功の秘訣を説明しなさい。
4. ヨシュアはどのようにして勇気を発達させることができましたか。
5. 何が、勇気の質を培う動機となるべきですか。

## 成功のために協力する

「信仰によって、遊女ラハブは、探りにきた者たちをおだやかに迎えたので、不従順な者どもと一緒に滅びることはなかった。」(ヘブル 11:31)

「邪悪なエリコの町において、異教徒の女は『あなたがたの神、主は上の天にも、下の地にも、神でいらせられるからです。』とあかしした(ヨシュア記 2:11)。このようにして彼女に与えられた主についての知識が、彼女を救ったのである。」(国と指導者上巻 337)

推奨文献： 国と指導者上巻 336 ～ 338, 342 ～ 347

日曜日

1月6日

### 1. 効果的な働きのためのガイドライン

a. 行動の人として、ヨシュアが効果的に計画したことを何が示していますか(ヨシュア 1:10-15)。これによって今日、わたしたちはどのように鼓舞されるべきですか。

「明確にされた計画は忌憚(きたん)なくその関係者に提示されるべきである。そして、それらが理解されていることを確認すべきである。その後、様々な支部の長に就いているすべての人はこれらの計画の実行において協力すべきである。もしこの確かで根本的な方法が適切に取り上げられ、関心と善意をもって実行されるなら、これといった目的もなくなされる多くの働きや無益な衝突の多くを避けることができる。」(伝道 94)

「グループを速やかに組織し、二人ずつ出て行き、キリストのご計画に従って、このお方の霊のうちに働きなさい。働き人の隊列の中には何人かのユダが入り込むかもしれないが、主はその働きを顧みて下さる。このお方の御使たちが先に行き、道を備える。この時の前に、すべての大都市は試金石となるメッセージを聞き、幾千もの人々が真理の知識へと導かれるべきである。諸教会は目覚めて、升の下から明かりを取り出しなさい。」(医事伝道 303)

## 2. 信頼と支援を勝ち取る

- a. どのようにしてヨルダン川の東側の諸部族は、ヨシュアに自分たちの信頼と支援を保証しましたか（ヨシュア 1:16, 17）。このことから、わたしたちは何を学ぶことができますか。

「キリストはご自分に従う人々が共に教会の中に導き入れられ、秩序を守り、規則と規律をもって、またすべての人が互に服し、他の人々を自分よりすぐれた者とするようになることを望んでおられる。一致と信頼が教会の繁栄に重要不可欠である。もし教会の各メンバーが他の人と関係なく自分自身の独特な方針をとり、好きに動いても良いと感じるならば、どのようにしてこの危険かつ危機の時に教会は安全でいられるであろうか。教会の繁栄と存在そのものは迅速で一致した行動とその教会員たちの相互の信頼にかかっている。危機に際して、ある人が危険の警報を響かせるとき、迅速に積極的に働く必要がある。一致した行動が多くの魂を破滅から救うはずの時に、疑問を差し挟んで、端から端まで主題全体を詳しく調べるために立ち止まり、こうして遅延のために敵が有利になることを許してはならない。…

わたしたちの兄弟に対する信頼は教会の繁栄にとって重要不可欠である。行動の一致は宗教的危機において重要である。一つの無分別な一歩、不注意な行動が、回復するのに何年もかかるような困難と試練に教会を陥れるかもしれない。一人の不信に満たされた教会員が、教会全体の繁栄に影響を及ぼすような優位性を大敵に与えてしまい、こうしてその結果、多くの魂が失われるかもしれないのである。」（教会への証 3 巻 445, 446）

- b. 民はどのようにヨシュアを励ましたか（ヨシュア 1:18）。この指導者への支援から、わたしたちはどのように鼓舞されますか。

「わたしたちは互いに落胆させないようにしよう。主の働きのすべての分野で成功するよう結束していよう。もしだれかがあなたのところへ来て、わたしたちの施設の中の一つのあるいは別の働きについて落胆し、あなたに彼らは並外れて浪費していると告げるならば、こう言いなさい、『もしそうだとすれば遺憾ですね。しかし、もし彼らが困っているなら、助けてあげようではありませんか』。もしあなたがこのように語るならば、あなたが同情を引っ込め、もしかしたら誤表されたかもしれない人々を助けることを拒んでいたなら引き起こされたであろう悪の多くを避けることができる。わたしたちは過ちを犯した人々でさえも、あたかも自分たちに対して許されざる罪を犯したかのように扱うことによって彼らを失望させることが、決してないようにしよう。」（健康への勧告 243）。

### 3. 課題を見積もる

- a. 旅の途中で最初の障害に直面した際、ヨシュアはどの手段をとりましたか（ヨシュア 2:1 上旬）。

「イスラエル人は、まだ、ヨルダン川の東がわに宿営していたが、このヨルダン川がカナン占領の最初の障害であった。神はまず、ヨシュアに、『あなたと、このすべての民とは、共に立って、このヨルダンを渡り、わたしが……与える地に行きなさい』と命じられた（ヨシュア 1:2）。どのようにして渡るのかは、何も指示が与えられなかったが、ヨシュアは、神が何をお命じになろうとも、神の民がそれを果たすることができる道を開いてくださることを知っていた。この勇敢な指導者は、信仰をもって、直ちに前進の手配を始めた。

川の数マイル向こう側で、イスラエル人が宿営している場所のちょうど反対のところに、強大な要塞都市エリコがあった。この都市は、事実上全土を攻め取るかぎであり、イスラエルの勝利の前に立ちはだかる、悔りがたい障害であった。そこで、ヨシュアは、ふたりの若者をつかわして町を偵察させ、その住民の数や、資源、また要塞の強固さなどを確かめさせた。」（人類のあけぼの下巻 101）

- b. エリコの住民の心の状態と、ラハブが命をかけて与えた保護を説明しなさい（ヨシュア 2:1 下句-9）。

「イスラエルが通り過ぎた各地で偶像礼拝者たちにおとずれた神の恐るべき裁きは、地に住むすべての人々の上に恐怖と不安を生じさせた。」（SDA パイブル・コメント [E・G・コト・コメント] 2 巻 994）

- c. イスラエルの力の秘訣として、ラハブは何を認めましたか（ヨシュア 2:10, 11）。

「犠牲的礼拝の教えによって、国々の前でキリストが高められるのであった。そして、キリストを仰ぎ見るすべての者は生きるのであった。カナン人ラハブ…のように、偶像礼拝から真の神の礼拝に立ち帰る者は、みな、神の選民に結合するのであった。」（国と指導者上巻・主のぶどう畑 4）

#### 4. 改心した異教の魂

- a. ラハブはどの過程によって、神の人々を保護しましたか。その見返りに彼女自身、どのように保護を受けましたか（ヨシュア 2:12-20）。これによって何が教えられますか。

「魂を見守っている人々、誤っている人の救いのために完全に献身している人々は、最もたしかに自分自身の救いを達成しているのである。」（教会への証 5 巻 607）

- b. 自分の同意を表すために、女は何をしましたか（ヨシュア 2:21）。神の働きにおける協力はどのように重要ですか。

「人間の努力の無力さについて多く言われているが、なお主は人の協力なしには、魂の救いのために何もなさらないのである。」（クリスチャン教育の基礎 217）

- c. 斥候たちが働かせた警戒心から、わたしたちは何を学ぶべきですか（ヨシュア 2:22）。

「向こう見ずな精神を持ちながら、それを勇気あるいは勇敢と呼ぶ人々がいる。彼らは不必要に自らを危険や危難の中に身を置き、こうして無傷でしめなく彼らを導き出すには神の奇跡を要求するような誘惑に自らをさらす。…

神の尊い約束は、人が僭越の道に進むのを強めたり、あるいは不必要に危険に飛び込む時に頼るために与えられているのではない。主はわたしたちがご自分のみ摂理にへりくだって依存して動くことを要求しておられる。『歩む人が、その歩みを自分で決めるのではない』。神のうちにわたしたちの繁栄とわたしたちの命がある。神の許しと祝福なしに何事も繁栄してできることはない。このお方はご自分のみ手を繁栄させ、祝福するために置くことも、またわたしたちに対してご自分のみ手を返すこともおできになるのである。…わたしたちは分別、用心、謙遜を働かせ、外にいる人々に向かって慎重に歩むべきである。」（教会への証 3 巻 482）



## 5. 希望と励まし

- a. 斥候たちがイスラエルの陣営に戻ってきたとき、彼らはヨシュアに何を告げましたか（ヨシュア 2:23, 24）。励ましの言葉を用いることは、どれほど重要ですか。

「日ごとに神に献身しているすべての人々によって宗教の明るく快活な側面が表される。わたしたちは嘆かわしいと見える試練をもの悲しく語ることによってわたしたちの主を辱めるのである。教育者として受けるすべての試練は、喜びを生み出す。宗教生活全体は、引き上げ、高め、高尚にし、良い言葉とわざに香る。敵は魂が落胆し、意気消沈すると非常に喜ぶ。彼は不信者がわたしたちの信仰の効力に関して誤った印象を受けることを願う。しかし、神は思いが高い水準に引き上げられることを望まれる。このお方は贖い主の守りの力のうちにすべての魂が勝利することを望まれる。」（SDA バイブル・コメンタリ [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1183）

- b. エリコが後に滅ぼされたとき、イスラエル人はどのようにラハブとその家族を扱いましたか（ヨシュア 6:21-23, 25）。わたしたちのふけていた罪が何であるかにかかわらず、何が、信仰を通して勝利が可能であることを示しましたか（ヘブル 11:31）。

「罪の要塞は意志の中にある。あなたの意志を、問題について神の側におきなさい。あなたをもはや罪人、遊女の立場においてはならない。あなたは自分が大事にしてきて、繰り返すことによって強くなった罪からどのように救出されるかはつきりわからないかもしれない。唯一の方法は自分の罪を告白し、それらを捨て、イエスがあなたを許して下さることを信じることである。」（性的行為、姦淫、離婚についての証 140, 141）

## 個人的な復習問題

1. わたしの伝道努力において、どのようにヨシュアの効果的な働きを模倣することができますか。
2. ヨルダンで、諸部族がヨシュアに与えた支援を、わたしはどのように模倣することができますか。
3. 日ごとにわたしたちが会おうかもしれない「ラハブ」のための神のご計画は何ですか。
4. 危険な時代において、用心や慎重さは、なぜ重要な徳なのでしょう。
5. どのように、わたしの言葉は、もっと斥候たちが持ち帰った報告のようになることができますか。

## 神のご臨在によりすぎる

「民に命じて言った、『レビびとである祭司たちが、あなたがたの神、主の契約の箱をかきあげるのを見るならば、あなたがたはその所を出立して、そのあとに従わなければならない。』(ヨシュア 3:3)

「イスラエル人がカナンへ旅をした時の経験を注意深く研究しなさい。ヨルダンから約束の地へ入るための準備と移動とが記録されたヨシュア記の 3 章と 4 章を研究しなさい。」(SDA パイブル・コメンタリ [E・G・ホフ・コメント] 2 巻 994)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 101 ～ 108  
教会への証 1 巻 645-653;  
初代文集 90

日曜日

1 月 13 日

### 1. 信仰のうちに焦点を合わせている目

- a. 契約の箱、すなわちイスラエルにおける神のご臨在の象徴に関して、ヨシュアはどのようなはっきりとした命令を与えましたか。それはなぜですか (ヨシュア 3:2-4)。

「神の箱は十誡の保管場所として作られた聖なる箱であり、その律法は神ご自身の象徴であった。この箱はイスラエルの栄光及び力だとみなされた。神聖なご臨在のしるしが昼に夜にその上にあった。」(霊的な賜物 4a 巻 101)

- b. 天にある契約の箱は、どの意味において、今日わたしたちにとって象徴的に等しく重要なのですか (ヘブル 8:1, 2; 9:3-5)。

「サタンは、民としてわたしたちのうちに、自分たちの過ちを捨て去るように譴責し、たしなめ、訓告するものが何も入らないようにあらゆる手段をとってきた。しかし、ここに神の契約の箱を担う民がいる。」(牧師への証 411)

## 2. 驚くべきものを見る準備をする

- a. イスラエル人が奇跡的な方法で神のご臨在を経験することができる前に、ヨシュアは彼らにどのように準備するよう命じましたか (ヨシュア 3:5)。
- b. 今日、神はわたしたちをどのように聖化し、清めて下さいますか。またわたしたちの側でこの聖化に何が伴いますか (テトス 2:14; マタイ 16:24)。

「真のきよめは愛の原則から出た働きによってあらわれる。……

きよめは、一瞬、一時間、一日だけの働きではなく、一生の働きである。それは感情の幸福な高揚によって得られるのではなく、絶えず罪に死に、絶えずキリストのために生きることの結果である。」(患難から栄光へ下巻 263)

「本物の聖化は…日ごとに自己に死に、日ごとに神のみ旨に順応することに他ならない。…パウロの聖化は継続的な自己との戦いであった。彼は『日ごとに死んでいる』と言った。彼の意志と彼の願望は、毎日義務や神のみ旨と戦った。傾向に従う代わりに、彼は、自分の性質にとってどんなに不快で十字架につけるようなものであっても神のみ旨を行った。」(教会への証 4 巻 299)

「真の聖化は神との調和、品性においてこのお方と一つであることである。それはこのお方のご品性の写しであるこれらの諸原則への従順を通して受けるものである。」(同上 6 巻 350)

「ここに聖書の聖化がある。それは単に見せかけや外面の働きではない。それは真理という通路を通して受ける聖化である。それは心のうちに受け入れられ、生活の中で実行された真理である。」(同上 1 巻 339)

- c. 民のために命と安全を危険にさらすかもしれない先頭を命じられたのは、だれでしたか (ヨシュア 3:6-8)。

「祭司たちは自分の指導者の命令に従って、契約の箱を担いで民の前を行った。群衆は後ろに下がり、箱からおよそ 4 分の 3 マイル (約 1.2km) の空間ができるように命じられた。甚だしい万軍は深い関心をもって、祭司たちがヨルダンの岸を進み下って行くのを見ていた。彼らは祭司たちが聖なる箱を持って着々と前進し、怒った荒れ狂う流れに向かって行き、ついに担いでいる人々の足が水の中に浸かるかのようになるのを見た。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 4 月 7 日)

### 3. 神のご臨在の保証

- a. 危険に直面して聖なる箱を担いだ献身した神の人々に、どの約束が成就しましたか（イザヤ 43:2）。

「四人の天使がいつも旅の全行程で、神の契約の箱に伴っていた。それはあらゆる危険から守り、またこの箱に関連した使命が彼らに要求されるときに果たするためであった。」（霊的な賜物 4a 巻 102）

- b. ヨルダン川の波が甚だしく膨れ上がるとき、箱を担ぐ人々に関して、主は何を約束なさいましたか（ヨシュア 3:9-13）。
- c. 今日、「契約の箱を担う」ために、しばしば困難で厳しい状況下において現代の真理を広めつつ、忠実に前進する重荷の担い手一人ひとりに、神はどの希望を差し伸べておられますか（詩篇 126:4-6）。

「神のしもべは、時折、なすべき働きをすることが不可能だと思う。それは、強力で堅固な働きを続ける資金がないからである。ある者は、彼らの所有する物資では、しなければならないと感じることをすべて行うことは不可能ではないかと思う。しかし、もし彼らが信仰をもって前進すれば、神の救いがあらわされ、彼らの努力は必ず成功するのである。世界のあらゆる場所に行けと弟子たちにお命じになった神は、神の命令に従って神のメッセージを伝えようとするすべての働き人を、支えてくださるのである。

主は、みわざを推進するにあたって、常に万事を神のしもべたちに明らかにされるとは限らない。神は、時には、神の民を、信仰をもって前進しなければならないような状態におとし入れて、彼らの信仰を試みられる。神は、時折、彼らを厳しい困難な場所に至らせ、彼らの足が、ヨルダン川の水に触れると思われるときに、前進することをお命じになる。このような時に、神のしもべたちは、熱烈な信仰の祈りを神にささげ、神が、彼らの前に道を開いて、彼らを広い場所に導いて下さることを祈るのである。」（患難から栄光へ下巻 38, 39）

#### 4. 働いておられる神のみ手

- a. 祭司たちがヨシュアを通して神より与えられたご命令に絶対的に服従したとき、どのような驚くべき結果が続きましたか（ヨシュア 3:14-17; 4:18）。

「祭司たちは自分たちの指導者の命令に従い、契約の箱を運んで、民の前を行った。ヘブル人の万軍は、行進してこの神聖なご臨在の象徴に従った。広い隊列がヨルダンの岸へと下っていき、祭司たちの足が川の端に浸かったとき、川は上から遮断され、体積は流れ下り、乾いた川底を表した。祭司たちは神の箱を担いで渡っていき、イスラエル人が後ろに続いた。ヨルダン川の真ん中で、祭司たちはヘブルの万軍がみな渡り終わるまで、川の水路の中で立ち止まっているように命じられた。これは彼らの思いに、ヨルダン川の水を止めたのは、40 年前に自分たちの父祖たちが紅海を渡れるようにしたのと同じものだという事実をより強力に印象づけた。

子供だったときに紅海を渡った多くの人々は、戦いのために武装した軍人として、いま同様の奇跡によってヨルダン川を渡った。イスラエルの万軍の後に、すべての人が渡り、ヨシュアは祭司たちに川から上がるように命じた。彼らが契約の箱を担って、安全に反対側の岸辺に立ったとき、神はご自分の強力なみ手を取り除き、積み上げられていた水は流れ下り、自然な水路へ強力な瀑布（ばくふ）となった。ヨルダン川は下って、抑えきれない洪水となり、その岸にあふれかえった。」（教会への証 4 巻 157, 158）

- b. この奇跡は、どのようにまたなぜ記憶に保たれるべきだったのですか。これは周囲の国々にどのような効果を及ぼしましたか（ヨシュア 4:4-9, 21-24; 5:1）。

「神の御子イエスは天使たちを従えて、箱がヨルダン川に来たときに先に行かれた。そして水はこのお方のご臨在の前に遮断された。キリストと御使たちは、全イスラエルがヨルダン川を渡りきるまで、川床に箱と祭司たちと共に立っておられた。」（霊的な賜物 4a 巻 102）

「神が、イスラエルの子らの前で、ヨルダンの水をとめたという知らせが、アモリ人の王やカナン人の王の耳に達したとき、彼らはふるえおののいた。」（人類のあけぼの下巻 105）

## 5. 新しい経験に入る

- a. なぜ割礼の習慣が中断されていたのですか。そしてなぜそれが回復しましたか(ヨシュア 5:2-9)。

「カデンにおける反逆のとき以来、割礼の儀式が中止されていたことは、割礼が象徴している神と彼らとの契約が破られたことを絶えずイスラエルに証言してきた。そして、エジプトからの解放の記念である過越の祭りが中断していたのは、彼らが奴隷であった国へ帰りたいという願いを主がきらわれたことを現わすものであった。しかし、今、拒絶の年月は終わりを告げた。もうひとたび、神はイスラエルをご自分の民として認め、契約のしるしが回復された。割礼の儀式は、荒野で生まれた民のすべてに行なわれた。」(人類のあけぼの下巻 106)

- b. イスラエル人たちが今、ヨルダン川での奇跡の後に味わった勝利の状態を、他に何が特徴づけましたか(ヨシュア 5:10-12)。

「主はご自分の民を導き、乾いた地の上でヨルダンを越えさせることによって、顕著にご自分の力と恩寵を表された。そして彼らの敵たちはもはや彼らの名誉を傷つけることはできなかった。今まで続いてきたマナは止んだ。なぜなら、イスラエル人はカナンを所有し、かの良い地の実を食べようとしていたからであった。もはやマナの必要はなかった。」(教会への証 4 巻 159)

## 個人的な復習問題

1. 今日、どのように契約の箱を見ていることができますか。
2. ヨルダン川へ歩いてはいる祭司たちの自発性にはどのような意味がありますか。
3. わたしはどのように今日、実際に契約の箱を担う者となることができますか。
4. 神は時になぜヨルダン川でなさったように奇跡を行うことを選ばれるのですか。
5. なぜ約束の地へ入るときに割礼の儀式が重要だったのですか。天のカナンを求めるときに、どの儀式がわたしたちにとって重要ですか。なぜですか。



## エリコでの勝利

「信仰によって、エリコの城壁は、七日にわたってまわったために、くずれおちた。」(ヘブル 11:30)

「キリストと御使たちはエリコの周りを箱が回るのに伴われた。そしてついに都市の巨大な壁は崩れ落ち、エリコはイスラエルの手のうちに渡された。」(霊的な賜物 4a 巻 102)

推奨文献： 教会への証 4 巻 159-164

日曜日

1 月 20 日

### 1. 素晴らしい出会い

- a. ヨシュアがエリコ近くにおいて瞑想し祈っていたときに、彼はだれに会いましたか。また彼はどの質問をしましたか (ヨシュア 5:13)。

「ヨシュアが瞑想し、また神の特別なご臨在が自分に伴って下さるよう祈るためにイスラエル軍から身を引いていたときに、背が高く、軍服のようなものをまとい、その手に剣を下げた人を見た。ヨシュアはイスラエルの軍人の一人としてこのお方を認めなかったが、敵のようにも見えなかった。」(教会への証 4 巻 159)

- b. ヨシュアの前に立っていた背が高く威厳のある姿の軍人は、だれでしたか。どの指示が与えられましたか (ヨシュア 5:14, 15)。

「〔ヨシュア 5:13-15 引用〕。このお方は普通の天使ではなかった。それは主なるイエス・キリスト、すなわち夜は火の柱、昼は雲の柱に包まれて、荒野を通して指揮してこられたお方であった。このお方のご臨在によってその場所は聖なるものとされた。そこでヨシュアは靴を脱ぐように命じられた。」(霊的な賜物 4a 巻 61)

## 2. 時は熟した

- a. エリコについて何とされていますか。またなぜその門はずっと閉ざれていたのですか。神はヨシュアにどの保証をお与えになりましたか (ヨシュア 6:1, 2)。

「国の強大な要塞の一つ、すなわち、巨大で富裕なエリコの町が、…〔イスラエル人〕の眼前にあった。熱帯のさまざまな産物を豊かに産出する肥沃な平野の縁に、華美と悪徳の住居であるほころかな宮殿や神殿があった。そして、この高慢な町が、巨大な城壁に守られて、イスラエルの神に挑戦した。エリコは特に月の女神アシタロテにささげられた偶像礼拝の本拠の一つであった。カナン人の宗教において、最も卑しく、墮落的なものがごとくここに集まっていた。ベテペオルで犯した自分たちの罪の恐るべき結果が、まだ心になまなましいイスラエルの民は、嫌悪と戦慄をもってこの異教の町を見ることができるだけであった。」(人類のあけぼの下巻 109, 110)

- b. ヨシュアを通して、神が都市の倒壊のためにお与えになった指示を説明しなさい (ヨシュア 6:3-8)。どのように一致した規律がすべての人の信仰を後押ししましたか。

「最終的に壁が倒壊する前にしばらくの間この儀式を続けるという計画そのものが、イスラエル人への間の信仰を増すための機会を与えた。

彼らに自分たちの強さが人間の知恵にあるのでも、人間の力にあるのでもなく、ただ自分たちの救いの神のうちにありという観念が徹底的に印象づけられた。彼らはこうして疑いの余地のないところへ自らの身をおき、自分たちの神聖な指導者なるお方に完全により頼むことに慣れていった。

今日神の民だと公言する人々は、同様な状況下でこのように振る舞うであろうか。疑いの余地なく、多くの人々は自分自身の計画に従うことを望み、願う目的を果たすために別の方法や手段を提案するであろう。彼らはこれほど単純で、従順という功績を除いては自分たちに何の栄光も帰さないような取り決めに従うことを忌み嫌うであろう。彼らはまたこの方法で、巨大な都市を打ち倒す可能性を疑うであろう。しかし、義務の法則が最上なのである。それは人間の理論を支配すべきである。信仰はすべての障壁を押しわけ、あらゆる障害を乗り越え、その旗印を敵の陣営の中心に立てる生きた力である。」(教会への証 4 巻 163)

### 3. 神秘的な表れ

- a. イスラエルは始めの6日間、エリコを回るときに何をしましたか(ヨシュア 6:9-14)。神秘的な表れに、都市はどのように反応しましたか。

「ヨシュアは、神の命令に従ってイスラエルの軍勢を整列させた。攻撃はいついしてはならなかった。彼らはただ、神の箱をかつぎ、ラッパを鳴らして、町の周囲を巡るのであった。選ばれた一団の戦士たちが先頭を行ったが、この場合、勝利は、自分たちの技量と武勇によって得るのではなく、神から与えられた指示に従うことによって得るのであった。ラッパを吹き鳴らす七人の祭司がそれに従った。その次に、栄光に輝く神の箱を、聖識にふさわしい衣服を身につけた祭司がかついで歩いた。そして、イスラエルの軍勢の各部族がそれぞれの旗をひるがえして従った。これが滅びる運命にあった町を取り囲んだ行軍であった。この強力な軍勢の足音と、おごそかなラッパの音が山々にこだまし、エリコの町になり響いたほかは、何の物音も聞こえなかった。一周は終わり軍勢は静かに天幕に帰り、箱は幕屋の所定の場所にもどされた。

エリコの見張りは驚いて、すべての行動に注目して、当局に報告した。彼らは、この行動のすべての意味はわからなかったが、聖なる箱と祭司たちとともに、この強力な軍勢が、一日に一度、町のまわりを行軍するのを見て、その情景の不思議さに、祭司も民も恐怖をいだいた。もう一度、彼らは強固な要塞を点検し、どんな激しい攻撃にも耐えられることを確かめた。こうした奇妙な示威行進からは、なんの損害を受けることかといって笑う者も多かった。毎日、町を一周する行進を見て恐れる者もいた。」(人類のあけぼの下巻 110, 111)

- b. 第七日目に何が起こりましたか(ヨシュア 6:15, 16, 20; ヘブル 11:30)。

「偽りの報告を持ち帰った斥候たちにはとても打ち破れそうにないと思えた壁を、天の軍勢はいかにたやすく崩したことであろう! 神のみ言葉が用いられた唯一の武器であった。…働きは全能者に委ねられた。」(教会への証 4 巻 161)

#### 4. はなはだしい運命—そしてその原因

- a. 神はエリコ、その住民、そしてその財産について、何を命じになりましたか。ヨシュア 6:26 にあるそののろいは、どのように成就しましたか (ヨシュア 6:17-19, 24, 26; 列王記上 16:34)。

「イスラエル人は、自分たちの力で勝利を得たのではなく、この征服はまったく主のものであった。そして、この地の初なりとして、エリコとその中のすべてのものは神への供えものとしてささげなければならなかった。カナン征服にあたって、彼らは自分たちで戦うのではなく、ただ神のみ旨を果たす器として戦うにすぎないこと、また、財産や自己賞揚のためではなく、彼らの王であられる主の栄光を求めるべきことが、イスラエルに深く印象づけられなければならなかった。占領に先だって次のような命令が与えられていた。〔ヨシュア 6:17, 18 引用〕。

町の住民と、その中の命あるものは、……みなつぎにかけられた。……町は焼き払われ、宮廷と寺院、豪華な住居とそのぜいたくな設備、きらびやかな織物と高価な衣服は焼かれた。……町のあった場所のはろわれた場所となり、エリコは、要塞として再建されてはならなかった。神の力によって崩壊された城壁を復興しようとする者があれば、その人の上に刑罰が下るのであった。」(人類のあけぼの下巻 113, 114)

- b. なぜ神はエリコにそのような運命を宣告されたのですか (申命記 7:2-10; 20:16-18)。

「〔申命記 7:2; 20:16 引用〕。この命令は、聖書の他の箇所に命じられている愛とあわれみの精神に反していると思う人が多いが、実際、それは、無限の知恵と恵みに満ちた命令であった。神はカナンにイスラエルを定住させ、地上における神の王国の表示となるべき国家と政府を彼らのうちに展開しようとしておられた。彼らは、ただ、真の宗教を継ぐだけでなく、その原則を全世界に広めなければならなかった。カナン人は最も邪悪で墮落的な異教に陥っていた。であるから、神の恵み深いみ旨を妨害するにきまっているものをその国土から一掃する必要があった。

カナンの住民には、悔い改めの機会が十分に与えられていた。」(同上 114)

## 5. 神は最善をご存じである

## a. エリコの征服から、わたしたちは何を学ぶべきですか（ローマ 15:4）。

「民としてわたしたちは信仰に欠けている。この時代、エリコを征服したときにイスラエルの軍勢のように神の選ばれた僕を通して与えられた指示に従順に従おうとする人々はほとんどいない。主の万軍の将は、改宗全体にご自身を表されたのではなかった。このお方はヨシュアにのみ伝達されたのである。彼がこの会見の物語をヘブル人に述べた。ヨシュアの言葉を信じるか疑うか、主の万軍の将の名において彼によって与えられた命令に従うか、あるいは彼の指示に反逆し、彼の権威を否定するかは彼らに任ざれていた。彼らは自分たちの指導者を導いておられた神の御子、そしてこのお方によって先導された天使の万軍を見ることはできなかった。そして彼らは次のように論じることができたはずであった、『これはなんと無意味な動きだろう。そして日々、羊の角のラッパを吹き鳴らしながら、都市の城壁の周りを行進してみせるとはなんとばかげたことであろう！これらのそびえ立つ要塞に何の影響を及ぼすことができようか。』…

〔神は〕、もし神を信じる子らが自分たちの全幅の信頼を神におき、絶対的にこのお方に従うならば、すべての危急時に助けて下さる。

神は質問したり、疑ったりしないでご自分のみ言葉に従う忠実な民のために力強く働いて下さる。天の大君は、ご自分の天の軍勢と共に、人間の助けを得ずにエリコの城壁を倒壊された。イスラエルの武具をまとった兵士たちは自分たちの成したことを誇る何の言われもなかった。すべては神のみ力を通してなされたのであった。民は自己と自分自身の計画に従って働きたいという願望を放棄しなさい。へりくだって神聖なみ旨に服しなさい。そうすれば神は彼らの力をよみがえらせ、ご自分の子らに自由と勝利をもたらされる。」（教会への証 4 巻 162-164）

## 個人的な復習問題

1. 特別な戦略を実行するに先立ち、ヨシュアはどのように力づけられましたか。
2. もしエリコが滅ぼされていなかったら、残りの歴史はどのように影響を受けていたはずですか。
3. 神がエリコの戦いで勝ちを得られた神秘的な方法を説明しなさい。
4. イスラエルはなぜすべてのものを焼き、金属を倉へ捧げる必要があったのですか。
5. 何が、神がお与えになることのできる成功をわたしが経験しないよう妨げるかもしれませんか。

## 第一安息日献金 ザンビア連合ミッション本部のために

1964 年に英国の統治からザンビアが独立してから、この国は南東アフリカ地方を通じて平和の拠点として知られてきました。ここは 290,585 平方マイル [752,612 平方キロメートル] の内陸の国で、およそ 1550 万人の家郷です。ザンビアは 20 年ほど前にキリスト教国家と宣言され、今日世界的に礼拝の自由を享受している国として知られています。



改革のメッセージを携えた最初の伝道者たちがこの国に来たのは 1940 年でした。しかし、メッセージは 1970 年まで根ざすことはありませんでした。その時でさえ、わたしたちのかつての兄弟たちが直面した難題や、当時政府が教会の登録を禁じる決定をしたことから、働きは希望通りに進みませんでした。

しかしながら、主への嘆願はついに聞かれ、セブンスデー・アドベンチスト改革運動は 1991 年 10 月に政府に登録されました。その時以来、神の働きは順調に進展してきました。わたしたちの現在の教会員はおおよそ 700 人です。

わたしたちの連合ミッション本部は、この国の北西にあります。成長を促進するために、最後の総会のときに、本部が首都ルサカに再配置することが承認されました。そこではハーブのクリニックや菜食レストラン、また伝道の働き人たちのための訓練センターのような建物を建てる場所があります。

改革のメッセージを反映する記念の柱はいつも、この地上で神の働きをなし遂げるにあたり霊的な触媒としての役割を果たしてきました。残念なことに、わたしたちの資金はこの偉大な働きを拡張するのに不十分です。「あなたは魂を救う働きに、他のすべての関心を従属させようとするほど、カルバリーで払われた犠牲を深く感謝しているであろうか。救い主の生涯を特徴づけていた罪人を救おうとなさる同じ願望の激しさが、このお方に真に従う人々の生涯を特徴づける。キリスト教には自己のために生きようとする願いが無い。彼は自分の持っているものと自分自身とを主人の奉仕にことごとく捧げる。彼は魂をキリストに勝ち取りたいとの表現しがたい願いに動かされる」(教会への証 7 卷 10)。

神格によって示された愛と犠牲がすべての信徒を動かして、滅びつつある世界を救うために惜しみなく捧げさせてくださるようというのが、わたしたちの心からの願いです。

皆さんに先立ってお礼申し上げます。神の豊かな祝福がございますように。

ザンビアからみなさんの兄弟姉妹より



## アイでの苦悩

「イスラエルは罪を犯し…。…それでイスラエルの人々は敵に当ることができ…ないであろう。」(ヨシュア 7:11, 12)

「幾千もの人々が戦場で殺された。なぜなら、神は民の中に一人でも罪人がいたら、すなわち神の言葉を犯した者がいたならば、彼らを祝福し繁栄させることはないからである。」(教会への証 3 巻 239)

推奨文献： 教会への証 3 巻 263-272

日曜日

1 月 27 日

### 1. 隠れた危険が待ち伏せている

- a. エリコ崩壊後、ヨシュアは、どの隠れた危険に気がつきませんでしたか(ヨシュア 7:1)。その間に、カナンの制服においてどのような段階が取られましたか(ヨシュア 7:2, 3)。

「ヨシュアは、エリコを滅ぼしてから、しばらくしてヨルダンの谷を西に数マイル進んだ谷間の小さな町、アイを攻撃することにした。派遣された斥候の報告によれば、住民は少なく、町を滅ぼすのにはほんのわずかの軍勢でよいであろうということであった。」(人類のあけぼの下巻 116)

- b. 斥候の報告に基づいて、アイを攻撃するのに、どれくらいの兵士が送られましたか(ヨシュア 7:4 (上句))。この時に、どの間違いを犯しましたか。

「神が、イスラエルのために大勝利をお与えになったために、彼らは自己過信に陥った。神が、彼らにカナンの国を約束なさったために、彼らは安心し、神の助けだけが、彼らに成功を与え得ることを自覚しなかった。ヨシュアでさえ、神の勧告を仰がないで、アイ征服の計画をたてた。

イスラエルの人々は、自分自身の力を賛美し、彼らの敵を軽視しはじめた。勝利は、たやすく得られるように思われ…。」(同上)

## 2. 心の吟味への呼びかけ

- a. アイで、どのような喜ばしくない驚きにイスラエル人は衝撃を受けましたか（ヨシュア 7:4, 5）。

「イスラエルの3千人の兵士たち」は、神がいっしょにおられることを確かめもせずに攻撃した。彼らは、門のすぐそばまで突進したところ、そこで、頑強な抵抗を受けた。敵の数とその十分な準備にあわてふためいた彼らは、列を乱してがけをかけおりた。……彼らが、実際の戦場で、カナン人に会ったのは、これが最初であった。そして、この小さな町の防衛軍の前から彼らが逃げ去ったのであれば、彼らの前にあるもっと大きな戦闘の結果はどうなることであろうか。」（人類のあけぼの下巻 116）

- b. この悲劇に対して、ヨシュアはどのように反応しましたか（ヨシュア 7:6-9）。彼の反応は何が間違っていましたか。

「ヨシュアは神の誉れに対する真の熱心さを表したが、彼の嘆願には疑いと不信が混じっていた。神がご自分の民を異教の権力に渡すためにヨルダン川を渡らせたという思想は、罪深いものであり、イスラエルの指導者にふさわしくなかった。神の民の救出のために神がなされた力強い奇跡と、神が彼らと共にいて下さると繰り返し返された約束を考えると、ヨシュアの落胆と不信の気持ちには言い訳の余地がなかった。」（サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881年4月21日）

「どの教会においても、自分たちの闇と自分たちのただ中にある苦難の原因を探らないことは罪である。某地にある教会は、自分たちの内にある悪、すなわち彼らの上に神の祝福がもたらされるのを妨げているものについて、もっと目覚めるまでは、生きた繁栄した教会になることはできない。」（教会への証 3巻 520）

「真理を信じると主張する諸教会、すなわち神の律法を支持し、その律法を守る諸教会は、すべての悪から離れなさい。教会員は個人個人悪を行い、罪にふける誘惑に抵抗しなさい。教会は悔い改め、へりくだり、そして深い心の吟味によって、神の御前に清めの働きを始めなさい。なぜなら、わたしたちは贖罪の日の本体—永遠の結果をはらんだ厳粛な時—にいるからである。」（セレクトド・メッセージ 2巻 378）

### 3. 神はお答えになる

- a. ヨシュアが祈ったときに、神はどのように恵み深く、アイでのイスラエル軍の屈辱的な敗北に対して抗議しつつ、お答えになりましたか（ヨシュア 7:10-12）。

「わたしたちの憐れみ深い神は、ご自分の僕〔ヨシュア〕に、この〔落胆と不信という〕過ちのゆえに怒りをもって臨まれなかった。このお方はヨシュアのへりくだりと祈りをお受け入れになり、同時に彼の不信を優しく譴責されてから、彼に彼らの敗北の原因を明らかにされた。」（サイン・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 4 月 21 日）

- b. この危機からわたしたちは何を学ぶべきですか（コリント第一 10:1-5, 11, 12）。

「〔ヨシュア 7:10-12 引用〕。

「わたしは、神がここでご自分の律法を守ると公言する人々の間にある罪をどのようにご覧になるかを例示しておられることを示されてきた。昔のイスラエルのように、神の力の顕著な現れを目撃するという特別な誉れを神から与えられてきた人々、そしてその後でさえ、神の明確な指示をあえて無視する人々は、神の怒りの対象である。このお方はご自分の民に不従順と罪がご自分にとってはなほだしく罪深いものであり、軽くみなされるべきでないことを教えようとした。ご自分の民が罪の内にいることを見いだされたとき、神のご不興がすべての人に及ぶことがないように、彼らはただちにその罪を自分たちから取り除くための断固とした手段をとるべきだということを、このお方はわたしたちに示しておられる。しかし、もし民の罪が責任の地位に人々によって見過ごされるなら、このお方のご不興は彼らにのぞみ、神の民は体として、それらの罪に対して責任を負うのである。過去に神がご自分の民を取り扱われた方法において、主は教会が悪から清められる必要を示しておられる。一人の罪人が会衆全体から神の光を閉め出すような闇を発散するかもしれない。民が、自分たちの上に闇が沈殿していることを悟りながら、その原因がわからないとき、彼らは神の御霊を悲しませた悪を探り出して取り除くまで、大いにへりくだり自己を低めて、真剣に神に求めるべきである。…

もし悪が神の民の間で明らかであり、そしてもし神の僕たちがそれらに対して無関心にやり過ごすならば、彼らは事実上、罪人を支持し、義認しているのであって、同様に有罪であり、たしかに神のご不興を被るのである。なぜなら、彼らは有罪の者の罪に対して責任を問われるからである。」（教会への証 3 巻 265, 266）

#### 4. これらの最後の時代における働き

- a. 弱さとアイでの敗北の原因となった危機において、神はヨシュアにどの行動を直ちに取るよう指示なさいましたが(ヨシュア 7:13-15)。わたしたちはこのことから、何を学ぶことができますか。

「〔ある人々は〕悪を目撃するかもしれないが、ヨシュアが感じたように感じることも、またそれらによって魂の危険を感じて自らをへりくだらせることもしない。

真の神の民、すなわち心に主の働きと魂の救いの精神を持つ人々は、いつも罪をその真の罪深い性質の内に見る。それらはいつも神の民にからみつく罪を忠実に率直に扱う側にいる。特に教会のための終わりの働きにおいて、すなわち神の御座の前に傷なく立つべき14万4千人を印するときにおいて、彼らは神の民だと公言する人々の悪を最も深く感じるのである。…

だれがこの時代に、神の勧告のうちに立っているであろうか。事実上、神の民だと公言する人々の間にある悪の言い訳をし、あからさまでなくとも、罪を譴責する人々に対して心の内につぶやく人々であろうか。彼らに敵対して自分の立場を取り、悪をなしている人々に同情する人々であろうか。断じてそうではない!彼らが悔い改め、働きの重荷を担っている人々に反対することにおける、またシオンにいる罪人の手を支えることにおけるサタンの働きをやめない限り、彼らは決して、神の印する承認のしるしを受けることはない。」(教会への証 3巻 266, 267)

「もし教会の指導者たちが体組織の上に神のご不興をもたらす罪を勤勉に探り出すことを怠るならば、彼らはそれらの罪の責任を負うことになる。」(同上 269)

- b. ヨシュアはどのように従順に手続きを取りましたか(ヨシュア 7:16-18)。

「ヨシュアには、犯人を発見して、罰するようにという指示が与えられた。罪ある者を見破るために、くじが引かれることになった。罪人は、すぐに指摘されたのではなくて、しばらくの間、不明のままにされていた。それは、人々が、自分たちのなかにある罪の責任を感じるためであった。そして、深く心をさぐって、神の前にへりくだるためであった。……

ユダの部族のカルミの子アカンが、イスラエルを悩ます者として、神の指によって指摘されたのである。」(人類のあけぼの下巻 117, 118)

## 5. 危機における真の指導力

- a. ヨシュアは機転をもってアカンに何をするように言いましたか。アカンの応答は何でしたか（ヨシュア 7:19-21）。神はこの危機における無関心をどのようにご覧になりますか（ゼパニヤ 1:12）。

「ヨシュアの分別がなく、悪を探り出し、自分たちのうちに存在している罪を迅速に処分する特別な義務のない人が多くいる。そのような…人はこれをなす義務のある人々の道に立たせてはならない。…」

アカンの告白のやり方は、わたしたちのうちのある人々がなしてきた、またこれからもなすであろう告白に似ている。彼らは悪を隠し、神が彼らを探り出すまで、自発的に告白することを拒み、そして、その後で自分たちの罪を認めるのである。ある人々は心がかたくなになるまで悪の道を進み続ける。彼らは教会が重荷を負っていることを知ってさえているかもしれない。…それでも彼らの良心は彼らを責めない。彼らは自分たちの誇り高く反逆的な心を神の御前にへりくだらせ、自分たちの悪を取り除くことによって、教会を解放しようとしないのである。神のご不興がこのお方の民の上にある。そしてこのお方は罪が彼らの間に存在し、責任の地位にある人々が助長している間は、彼らのただ中でご自分の力を表すことをなさらないのである。

神を恐れて、教会から障害を取り除き、嘆かわしい悪を正すために働く人々、それによって神の民が罪を憎む必要性を認め、純潔のうちに繁栄できるように、そして神の御名が栄光を受けられるようにする人々は、いつも献身していない人々から抵抗する感化力を受けるのである。」（教会への証 3 巻 270, 271）

「教会は全体として、ある程度個々人の教会員の悪に責任がある。なぜなら、彼らはそれに対する声を上げないことによって悪を支持しているからである。」（同上 4 巻 491）

## 個人的な復習問題

1. どの要素が、イスラエルがアイで敗北する原因となりましたか。
2. ヨシュアの神への祈りの中で、何が信仰を表し、何が疑いを表していましたか。
3. キリストの再臨を真剣に準備する残りの教会の義務を説明しなさい。
4. ヨシュア 7 章にあるどの指導力の資質をわたしが発達させると良いのですか。
5. なぜわたしは野営から罪を追放するという生死に関わる仕事を妨げないようにしなければならないのですか。

## アカン症候群

「あらゆる食欲に対してよくよく警戒しなさい。たといたくさんの物を持っていても、人のいのちは、持ち物にはよらないのである。」(ルカ 12:15)

「財産の獲得に、ある人々は熱狂する。」(教会への証 4 巻 490)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 115-123

教会への証 4 巻 489-495

日曜日

2月3日

### 1. のろいの原因

- a. アカンが神によってイスラエルにおける犯罪人として特定された後に最終的に自分の有罪を認めたとき、ヨシュアはどのような行動を取りましたか (ヨシュア 7:22, 23)。
- b. なぜそのような罪が明らかにされることがそれほど重要なのですか (箴言 26:2)。

「アカンは蓄えたものと自分がむさぼった金銀の宝が主のものであることをよく理解していた。」(教会への証 3 巻 269)

「アカンの罪は、国民全体を不幸にした。ひとりの罪をさがし出してそれを取り除くまで、神の怒りは教会の上にとどまる。教会が最も恐れなければならない勢力は、公然と攻撃する反対者や、無神論者や、神を汚す者などではなくて、キリストを信じるといいながら、矛盾した生活を送る人々である。イスラエルの神の祝福をさえぎり、神の民を弱めるのは、このような人々なのである。

教会が困難に陥り、人々が冷淡になって、靈的に衰えて、神の敵に勝利を与えるようなとき、教会の人々は、いたずらに手をこまねいて、不幸な状態を悲しむことなく、宿営のなかにアカンがいないかどうかをたずねよう。各自は、けんそんに自分の心をさぐり、神の臨在をさえぎる隠れた罪を発見するように努めよう。」(人類のあけぼの下巻 121)



## 2. アカンに責任を取らせた

- a. 神は民にアカンをどうするように指示なさいましたか（ヨシュア 7:24, 25）。なぜ彼の運命は恩恵期間の終わりに非常に近く生きているわたしたちにとって警告なのですか。

「危機が最終的に訪れる…そして神はご自分の民のために語られ、罪を犯してきた人々、すなわち闇の雲となり、神がご自分の民のためになさる働きの道に真っ向から立ちはだかつてきた人々は、つぶやくことによって、またみ事業に失望をもたらすことによって自分たちが来てしまった長い道のりに恐れ始めるかもしれない。そしてアカンのように、恐れて、自分たちが罪を犯したことを認めるかもしれない。しかし、彼らの告白は遅すぎる。それらは神のみ事業を解放するものであるかもしれないが、彼らを益する正しい種類のものではない。そのような人は自分たちの正しい状態を自覚し、自分たちの取った行動が神にとってどれほど不快なものであったかということを感じて告白したのではない。」（教会への証 3 巻 271）

「今日、アカンの罪は大して重要なものではないと称し、その罪のいいわけをする人々が多くいる。しかし、それは彼らが罪の性質を自覚しておらず、神とご要求の聖なることの観念がないからである。神はわたしたちがそのみ言葉に勤勉に注意を払おうが払うまいが、このお方の聖なる律法の戒めに従おうが従うまいが厳密な方ではないという言葉をししばし耳にする。しかし、このお方がアカンを扱われた方法がわたしたちに対する警告となるべきである。彼は決して有罪者を放免なすることはない。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1888 年 3 月 20 日）

- b. どのように、またなぜアカンの運命を記憶にとめておくべきなのですか（ヨシュア 7:26）。これはわたしたちに何を教えますか。

「あなたはなぜアカンに関わるすべての人も神の刑罰の対象となったのかを考えたことがあるであろうか。それは彼らが神の律法の偉大な標準において自分たちに与えられた指示に従って訓練され、教育されてきたからであった。アカンの両親は自分の息子を主のみ言葉に従わなくてもよいと感じるような方法で育ててきた。彼の生活に植え付けられた原則は自分の子供たちを同じように墮落する方法で扱うよう導いた。思いは活動すると思いに反応を及ぼし、アカン自身と共に彼に関わる者を含んだ刑罰は、すべての者が不法に関わっていた事実を明らかにしている。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 2 巻 998）

### 3. 貪欲のみにくさ

#### a. 何がアカンを罪へと誘惑しましたか(ヤコブ 1:13-15)。

「アカンは、シナルの高価な衣服を見て、それがほしくなった。彼は死に直面したときでさえ、それを『シナルの美しい外套一枚』と呼んだ(ヨシュア 7:21)。一つの罪は次の罪へと導いた。そして彼は、主の倉にささげられた金と銀とを自分のものにした。彼は、カナン(注)の国の初穂を神から奪った。

アカンを死に至らせた恐ろしい罪の根は貪欲であつた。これは、すべての罪の中で最も一般的のもので、最も軽視されている。他の罪は、発見されて罰せられるのであるが、第十条の罪は、非難されることさえまれである。この罪がどんなに極悪で、その結果がどんなに恐ろしいものであるかという教訓をアカンの生涯が教えている。」(人類のあけぼの下巻 119, 120)

#### b. 貪欲の悪がどのように信仰の否定であるのかを説明しなさい(ヘブル 13:5)。

「貪欲は、徐々にひろがる悪である。アカンがいだいた貪欲心は、ついに習慣となり、断ち切れない鎖のように彼を束縛した。彼は、この悪を心にいだいて、それが、イスラエルに災いをもたらすことを考えて、恐怖心をいだいたことであろう。しかし、彼の感覚は、罪のために鈍くなった。そして、誘惑にあつたとき、彼はもろくも負けてしまった。

「同様に厳粛で明瞭な警告があるにもかかわらず、同じような罪がなお、行なわれていないであろうか。アカンがエリコのぶんどり物について禁じられていたのと同様に、われわれも貪欲心をいなくことを明らかに禁じられている。……

どこにでも貪欲のみにくい足あとが見える。それは、家族の中に不満と争いを起こし、貧者の心に、金持ちに対するねたみと憎しみを起こす。それは、また、金持ちが貧者を、搾取、圧迫する原因でもある。この罪惡は世の中だけにとどまらず、教会の中にもはいつている。ここでも、利己心をいだき、強欲で、人を欺き、慈善を怠り、『十分の一と、ささげ物』において、神のものを奪うことが、なんと一般に行なわれていることであろう(マラキ 3: 8)。悲しいことであるが、『正規の』教会員の中に多くのアカンがいる。」(同上 119, 120)

#### 4. わなを避ける

- a. 自分のものでないものを何かむさぼることに対して、わたしたちのところまでどの警告がこだましていますか（ルカ 12:15; ヨハネ第一 2:15-17）。この罪はどのように神のみ働きを妨げますか。

「神の恩寵を教会から取り除き、教会の靈性を死滅させるのは、ますます増幅する金銭欲へ没頭と、儲けたいという願望を生じさせる利己心である。富を増し加えるための計画と労苦に絶えず、頭と手が従事しているとき、神と人類の要求は忘れられてしまう。」（教会への証 4 巻 82）

「キリストのためにすべてを捧げる代わりに、多くの人々は金の延べ棒とシナルの美しい外套を取り、陣営のうちに隠している。もし一人のアカンの存在がイスラエルの全陣営を弱めるほどであったとすれば、すべての教会とほとんどすべての家族にそれぞれアカンがいるときに、わたしたちの努力にほとんど成功が伴わないことに驚くことができようか。」（同上 5 巻 157）

- b. 貪欲に関連して、他にどの罪を、神は特別に憎まれますか（箴言 6:16-19）。神はわたしたちがこれらの罪をいだいているとき、わたしたちをどのようにご覧になりますか。

「クリスチャンだと公言する人々が心にいだき、実行する様々な罪が神のご不興を教会にもたらす。天の台帳が開かれる日に、裁き主は言葉で人の罪を言い表されるのではなく、貫くような罪を自覚させるような一瞥を投げ、すべての行い、すべての生活上の取引が、生々しく悪を行った人の記憶に印象づけられる。ヨシュアの時代のように、人は部族から家族へと狩り出される必要はない。そうではなく、自分自身のくちびるで自分の恥、自分の利己心、貪欲、不正直、偽り、詐欺行為を告白するのである。彼の罪は人には知られないように隠されていたが、そのときには屋根の上で言い広められるかのように宣言される。

教会が最も恐れるべき感化力は、あからさまな反対者、すなわち無神論者や冒涇者のそれではない。そうではなく、矛盾しているキリスト公言者の感化力である。これらの人々こそ、イスラエルの神の祝福を妨げ、教会に弱さをもたらし、容易に拭い去られることのない非難をもたらす人々なのである。」（同上 4 巻 493）

「〔神の〕御靈は、信心を公言するある人々が欲しいままにしている誇り、浪費、不正直、そして行き過ぎによって悲しんでおられる。すべてこれらのものは、神のご不興をその民の上にもたらす。」（同上 491）

## 5. 取引における透明性

- a. 何を理解することが、わたしたちの世俗の利益に対する生来の願望より、神と自分の同胞を優先する助けとなりますか（箴言 15:3; コロサイ 3:1-3）。

「取引における行き過ぎの習慣は、世でよく見られるが、クリスチャンのための模範ではない。彼らは完全な正直さから、小さな事柄においても、逸れるべきではない。購買者の無知につけ込んで、一つの商品をその価値以上の値段で売ることは、詐欺である。不正な利益、取引の小さなごまかし、誇張、争い、正直な事業をしようとしている兄弟を出し抜いて安すぎる金額で売ること—これらのことは教会の純潔さを堕落させ、その霊性にとって破滅的である。

実業界は神の統治の境界をこえた外側にあるのではない。キリスト教は単に安息日に行列し、聖所の中で誇示することであってはならない。それは一週においてどの日のためでも、どの場所のためでもある。その要求は、作業場で、家庭で、また兄弟たちや世との商取引において認められ、従われなくてはならない。」（教会への証 4 巻 494）

「最初のクリスチャン教会には、わたしたちが持っているような特権や機会はなかった。彼らは貧しい民であったが、真理の力を感じていた。彼らの前になる目的は、彼らをすべて投資するよう導くのに十分であった。彼らは世の救いか損失かは自分たちの仲介にかかっていると感じた。彼らはすべてを投げ、主のご命令があればどこでも行く用意ができていた。

わたしたちは同じ諸原則によって支配され、同じ御霊によって感化を受けていると公言している。…わたしたちは個々人が働きにとりかかり、私欲のない事前のわたしたちの模範で他の人々を励まそうではないか。」（同上 5 巻 156, 157）

## 個人的な復習問題

1. 何が最も神の祝福を妨げ、神の民を弱めますか。
2. わたしは、どのようにアカンが自分の子供たちにしたような方法で、青年たちに感化を及ぼすかもしれませんか。
3. わたしはどのようにして食欲の根の始まりを欲しいままにしないで避けることができますか。
4. わたしたちが使用したものを売り買いするとき、特にどのような危険が潜んでいますか。
5. 世俗的な利益をむさぼるという一般的なわなを、どのように避けることができますか。

## 祝福とのろい

「モーセが命じたすべての言葉のうち、ヨシュアがイスラエルの全会衆および女と子どもたち、ならびにイスラエルのうちに住む寄留の外国人の前で、読まなかったものは一つもなかった。」(ヨシュア 8:35)

「人々の心の中に神の聖なる言葉に対する尊敬があつてこそ、はじめて彼らは神のみこころを達成することを望むことができるのであった。」(国と指導者下巻 81)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 124 ～ 128

日曜日

2月10日

### 1. 厳粛な選択

- a. 約束の地の境界で、主はご自分の民の前に、どのような選択肢を置かれましたか。またこのことから、わたしたちは何を学ぶことができますか (申命記 11:26-28)。

「従順が要求されている。そしてあなたが従わない限り、中立の立場よりも悪い場所に立っているのである。あなたは神の祝福をもって恩寵を受けているのでない限り、神ののろいを持っているのである。このお方はあなたに自発的で従順であることを求めておられる。そうすれば地の良きものを食べるであろうと言われる。苦いのろいが、主を助けに来ない人々に宣告されている。」(教会への証 2 巻 166)

- b. 祝福とのろいの宣告のために選ばれた二つの山を挙げなさい (申命記 11:29)。イスラエルの部族はこの聖なる義務のためにどのように分けられましたか (申命記 27:11-13)。

「その谷間の両がわに、エバル山とゲリジム山が近くに向かい合っていて、その低いところにある突出部が自然の講壇のようにみえ、その一方の上で話されることばの一つ一つが向かいがわにはっきり聞こえ、後方に広がる山腹は、おびただしい会衆の集合場所となっていた。」(人類のあけぼの下巻 125)

## 2. 勝利のために思いを訓練する

- a. モーセを通して、民がヨルダンを渡るときに実行すべき、どのようなエバル山に関する命令が与えられていましたか（申命記 27:2-8）。
- b. 民の思いに律法を定着させる目的で、他にどのようなことをしなければなりませんでしたか（申命記 6:6-9; 31:19-22）。

「神の民が荒野を放浪中、神の律法の言葉を覚えていることができるように、主は十分な備えをしてくださった。彼らがカナンに定住してからは、神の戒めが各家庭において毎日繰り返されることになっていた。神の戒めは、柱や門に明らかに書かれ、覚えの書き板の上に記されなければならなかった。また老いも若きも、それを音楽に合わせて歌うのであった。祭司たちは、これらの聖なる戒めを公の集会において教え、国のつかさたちは、これらを毎日研究しなければならなかった。主は律法の書についてヨシュアにお命じになった。『この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう』（ヨシュア 1:8）。」（国と指導者下巻 80 ～ 81）

- c. わたしたちもまた、神の律法を暗記すること、またこのお方のみ言葉の中に見いだす約束や警告を瞑想することから、どのような益を受けることができますか（詩篇 119:11）。

「毎日何回か貴重な黄金の時間を祈りと聖書研究のために捧げるべきである。一つの聖句を暗記するだけでも、その霊的な命が魂の中に存在することができる。」（教会への証 4 巻 459）

「思いは抑制されなければならない。またそれはさまようのを許されてはならない。それは聖句を熟考するように訓練されるべきである。サタンが誘惑をもつてくるときに繰り返すために、複数の章全体でも暗記することができる。通りを歩いているときにも、一節を読んでそれについて瞑想し、こうしてそれを思いにとどめることができる。そうすれば神がそれを必要とするちょうどその時に、得た知識を記憶にひらめかせて下さる。」（ウェスト・ミガソ・ヘルド 1904 年 10 月 26 日）



### 3. 以前の指示を実行する

- a. エバル山に関してモーセを通して与えられていた指示を、ヨシュアはどのように実行しましたか (ヨシュア 8:30-32)。

「モーセから与えられた指示に従って、大きな石の記念碑がエバル山に建てられた。この石に前もってしっくいをぬっておき、その上に律法が書き込まれた。それはシナイ山で語られて石の板に刻まれた十誡ばかりでなく、モーセに伝えられて本に書かれた律法もあった。この記念碑のそばに、切り出されたものでない石で祭壇が築かれ、その上で主にいけにえがささげられた。のろいをかけられた山であるエバル山に祭壇が築かれたことには意味があって、それは、イスラエルが神の律法を犯したゆえに当然神の怒りを招いたのであり、もし、いけにえの祭壇によって象徴されたキリストの贖いがなければ、神の怒りがすぐにものぞむであろうということを示していた。」(人類のあけぼの下巻 124, 125)

- b. ヨシュアはその壮大な儀式のために、指導者と民を、どのように配置しましたか。またわたしたちは他国の人が歓迎された方法について、何に留意すべきですか(ヨシュア 8:33)。

「レアとラケルから出た六つの部族はゲリジム山に、一方、召使の女たちから出た部族は、ルベン、ゼブルンと一緒にエバル山にそれぞれ場所をとった。祭司たちは、契約の箱と共に、中間の谷に場所を占めた。」(同上 126)

「主のみ言葉を信じる人々はレビ記と申命記にある指示を読みなさい。そこで彼らはイスラエルの家族にどのような教育が与えられたかを学ぶであろう。神の選民は神を知らない諸国家から分離して、区別された聖なるものとして立たなければならないが、彼らは他国人を親切に扱わなければならないが、彼はイスラエルに属していないからと言って見下されてはならなかった。イスラエル人はキリストがイスラエルを救うために死なれたのと同様に他国人のためにも死なれたがゆえに、彼を愛するのであった。彼らの感謝の祭りの際、彼らが神の憐れみを数えるときに、他国人は歓迎されるべきであった。」(教会への証 6 巻 273, 274)。

#### 4. 礼拝において形式主義を避ける

##### a. エバル山の儀式のクライマックスは何でしたか (ヨシュア 8:34)。

「合い図のラッパの音で静粛が宣言された。そして、その深い静けさとこの大会衆の面前で、ヨシュアは、聖なる契約の箱の横に立って、神の律法に従うことに伴う祝福を読み上げた。ゲリジム山の全部族は、アーメンをもってこれに応じた。」(人類のあけぼの下巻 126)

##### b. なぜ会衆が「アーメン」ということはふさわしかったのですか (詩篇 106:48)。 わたしたちもまた、しばしば「アーメン」ということが、なぜふさわしいのですか。

「主の言葉が昔ヘブル人に語られたときには、次の命令が与えられた。『すべての民は、アーメンとなえよ』。契約の箱がダビデの町に運ばれ、喜びと勝利の詩篇が詠唱されたとき、『その時すべての民は「アアメン」と言って主をほめたたえた』。この熱烈な応答は、彼らが語られた言葉を理解し、神の礼拝に参加した証拠であった。

わたしたちの礼拝に形式主義が多すぎる。主はみ言葉を説くご自分の牧師たちがご自分の聖霊によって活気づけられることを望んでおられる。そして聞く民はものうげな無関心のうちに座っていたり、空中を見つめて、言われたことに対して何の反応もしないようであってはならない。このようにして未信者に与えられる印象は、キリストの宗教に対して何も好感を与えない。これらの鈍く不注意な自称クリスチャンたちは、世俗の事業に携わるときには野心や熱心さに欠けてはいない。しかし永遠の重要性をもつ事柄は彼らを深く感動させないのである。神の使命者を通して聞かれる神のみ声は、心地よい歌かもしれないが、聖なる警告、譴責、励ましはみな注意を払われることがない。世の精神が彼らをまひさせてきた。神のみ言葉の真理は鉛の耳に、そしてかたくなで感受性のない心に語られている。キリストの牧師たちを励まし、支え、魂を救う働きにおいて彼らを助けるために、はつきり目覚めた活動的な教会がなくてはならない。光のうちに目覚め、いつでも快活で心からの反応と喜ばしい讃美の言葉がある教会はどこにあるであろう。」(教会への証 5 巻 318)

## 5. 幸福の秘訣

- a. 祝福とのろいの儀式には、他に何が含まれていましたか (ヨシュア 8:35)。定期的に、何が繰り返されるべきでしたか (申命記 31:10-13)。

〔祝福を読んだ後〕次にヨシュアがのろいを読み上げると、エバル山の全部族が同じように同意をあらわし、幾千の声がひとりの声のように相和して、厳粛に応答した。続いて神の律法と、モーセから民に伝えられたさだめと戒めが朗読された。

イスラエルは、律法をシナイ山で神の口から直接与えられ、そして、神ご自身の手によって書かれたその聖なる戒めは、まだ契約の箱の中に保存されていた。いま、それは再びだれもが読めるところに書かれたのであった。カナンを占領できる契約条件をだれもが自分の目で見るとの特権が与えられた。だれもが契約の条件を受け入れることを表示し、これに従えば祝福を受け、これに従わなければのろいを受けることに同意するのであった。律法は、記念の石に書かれたばかりでなく、ヨシュア自身によって全イスラエルの聞いている前で読み上げられた。モーセが申命記全部を民に語り終えてから幾週間もたたない今、ヨシュアがふたたび律法を読み上げたのであった。

イスラエルの男たちばかりでなく、女も子供たちも律法の朗読に聞き入った。彼らも、また、義務を知って実行することが重要であった。」(人類のあけぼの下巻 126, 127)

- b. 祝福とのろいのいくつかを挙げなさい (申命記 28:1-13; 27:14-26)。

## 個人的な復習問題

1. 昔のイスラエルに与えられた祝福とのろいは、どのように今日に関連がありますか。
2. 聖句を暗記し瞑想することは、どのように折々にわたしの益となってきましたか。
3. なぜ他国の人は、指導者や民と共に山の上にいたのですか。
4. どのような方法において、わたしはもっと自分の地元の牧師の職務を支えることができますか。
5. すべての人が若いときから、神への義務を学ぶことは、なぜ重要なのですか。

## ギベオン人を助ける

「われわれは、こうして彼らを生かしておこう。そうすれば、われわれが彼らに立てた誓いのゆえに、怒りがわれわれに臨むことはないであろう。」(ヨシュア 9:20)

「多数の民族の地のただ中において、ギベオン人は彼らの異教の神を捨ててイスラエルと同盟を結び、契約の祝福にあずかったのである。」(国と指導者上巻 337)

推奨文献：     サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1884 年 2 月 7 日

日曜日

2月17日

### 1. 狡猾な策略

a. ギベオン人はイスラエルの勝利者を見て、何をしましたか (ヨシュア 9:3-6)。

「するとまもなく、〔ギルガルで、イスラエル人のところに〕見知らぬ代表団がやってきて、協定を結びたいと希望した。使節団は、遠い国からやってきたと言い、彼らのようすからすればそれが真実らしく思えた。彼らの衣服は古びて破れ、くつはつぎ当てがしてあり、食料品はかびがはえ、酒を入れる皮袋は破れたのを旅の途中で急いでつくろったかのようにしぼりつけてあった。

パレスチナの国境の向こうの遠国で、彼らの同胞は、神が、神の民のために行なわれた不思議なわざを聞き、イスラエルと同盟を結ぶことを望んで、彼らを派遣したのだと、彼らは言うのであった。」(人類のあけぼの下巻 129)

b. 接触とイスラエル人が何を知るべきであったかを述べなさい (ヨシュア 9:7-13)。

「ヘブル人はカナン偶像礼拝者たちと同盟を結ばないようにということを特別に警告されていたので、この来訪者たちの言っていることが真実かどうかについて一抹の疑いが指導者たちの心に浮かんできた。」(同上)

## 2. 嘆かわしい欺瞞

- a. ギベオン人に関して、ヨシュアと指導者たちは、どのような過ちを犯しましたか。なぜ彼らは失敗したのですか（ヨシュア 9:14, 15）。
- b. 自分たちが欺かれたことがわかったとき、イスラエル人たちはどのように反応しましたか。なぜ彼らはギベオン人たちの命を救うことが正しかったのですか（ヨシュア 9:16-20）。

「自分たちが欺かれたことを知ったとき、イスラエル人の憤激は大きかった。……『会衆はみな、長たちにむかってつぶやいた』。しかし長たちは、欺瞞によって結ばれた契約ではあっても、『イスラエルの神、主をさして彼らに誓いを立てていたので』その契約を破ろうとしなかった。『イスラエルの人々は彼らを殺さなかった』（ヨシュア 9:18）。ギベオン人は、偶像礼拝をやめて主の礼拝を受け入れることを誓ったのであった。だから彼らを生かしておくことは、偶像礼拝のカナン人を滅ぼすようにとの神のご命令にそむくことではなかった。だからヘブル人が誓ったことは罪を犯すことにはならなかった。その誓いは欺瞞によるものではあったが、無視してはならなかった。」（人類のあけぼの下巻 130, 132）

- c. わたしたちが一度出した言葉を守ることに誠実であることの重要性について、何を悟る必要がありますか（箴言 12:22; 詩篇 15:1, 4（下句））。

「義務を誓ったからには、それが、悪い行為を義務づけるものでない以上、尊重すべきである。利益、報復、自己中心などを考慮に入れて、誓いを破るようなことがあってはならない。」（同上 132）

「もし何か、これからしようとすることについてはっきりしたことを述べ、あとになってから、それが自分には損になり他人を儲けさせることがわかって、それでも原則からはずかでもそれではならない。承諾したことは実行しなさい。計画をかえようとすることは、あなたが信頼できない人間であることを示すことになる。また一方〔いったん約束した〕小さな取引から手を引いたりするなら、大きな取引においても手を引くようなことになるであろう。こういったような場合、『言ったことが正しく理解されなかった。そのようなつもりで言ったのではなかった』と言ってごまかそうとする人たちもいる。しかし、実際は、たしかにそのつもりで言ったのであった。ただ最初のよい衝動をなくしてしまい、とにかく損をしないよう約束から手を引きたいと考えたのである。」（家庭の教育 151）

### 3. ギベオン人の運命

- a. ギベオン人は策略で回復されたために、何が生涯の運命となりましたか（ヨシュア 9:21-23）。このことは、イスラエルの神が周囲の国々に対して及ぼした影響力をどのように示していますか。

「ギベオン人は、生かしておくことになったが、聖所のいやしい下働きをする奴隷となった。……

ギベオンは、『大きな町であって、王の都にもひとしいものであり、……そのうちの人々が、すべて強かった』（ヨシュア 10:2）。このような町の住民が、命を救うために屈辱的な手段に訴えたことは、イスラエル人がどれほどカナンに住民に恐れられていたかということの大きな証拠である。」（人類のあけぼの下巻 132）

- b. ギベオン人はこの判断に対して、どのように答えましたか（ヨシュア 9:24-27）。

『ヨシュア 9:27 引用〕。彼らは、この条件を喜んで受け入れ、自分たちがまちがっていたことに気づいて、生命を贖うためならどんな条件にも喜んで従った。」（同上）

- c. もしギベオン人が欺瞞を働く代わりに真実をすべて語り、正直であったならば、祝福されたはずのことを、どの証拠が示していますか（出エジプト 12:48, 49; レビ記 19:33, 34）。

「神は、異教を捨ててイスラエルに加わりたい者は、だれでも契約の祝福を受けられるように道を備えておられた。…

『王の都にもひとしい』町の住民で、『そのうちの人々が、すべて強かった』といわれていた人々にとって、子孫末代まで、たきぎを切ったり、水をくんだりする者となることは、けっしてなまやさしい屈辱ではなかった。彼らは、欺瞞の目的で貧しい着物を身につけていたが、それは彼らがいつまでも人に使われる身分であるしるしとして、彼らにつけられた。こうして、何代にもわたって、彼らの奴隷状態は、神が虚偽を憎まれる証拠となるのであった。」（同上 133）



#### 4. 約束を守る

- a. ギベオン人がイスラエルと和を講じたことがわかると、アモリ人の5人の王は何をしましたか（ヨシュア 10:1-5）。

「ギベオン人がイスラエルに屈服したことから、カナンの王たちはろうばいした。侵入者と和を講じた者に対してただちに報復手段がとられた。……彼らの行動は早かった。」（人類のあけぼの下巻 133）

- b. ギベオン人が自分たちの危険を悟ると、ヨシュアにどのメッセージを伝えましたか。またその結果、彼はどの行動を取りましたか（ヨシュア 10:6-9）。

〔ヨシュア 10:6 引用〕。危険はギベオンの住民ばかりでなく、イスラエルにも迫った。この町は、中央および南部パレスチナへの交通路にまたがっていて、国を征服するにはここを確保しなければならなかった。

ヨシュアは、ただちにギベオンの救援に向かう手はずをととのえた。包囲されたこの町の住民は、自分たちが行なった欺瞞行為のために、ヨシュアが彼らの訴えを拒絶するのではないかと恐れた。しかし、ギベオン人はイスラエルの支配に服し、神への礼拝を受け入れたのであるから、彼らを保護する義務があると、ヨシュアは感じた。彼は、こんどは、神の助言なしに行動しようとはしなかった。主はその企てを激励された。…

徹夜の強行軍で、ヨシュアの軍隊は朝方にはギベオンの前方に到着した。同盟軍の王たちは、ヨシュアが彼らを襲撃したときには、やっと軍勢を町の周囲に集結したばかりのところであった。」（同上 134）

- c. イスラエルの神が守られる人々のために、このお方のどのような驚くべき力が表されましたか（ヨシュア 10:10, 11）。

「おびたしい軍勢はヨシュアの前から敗走して、山道からベテホロンへ逃げた。山の頂上まで登りきると彼らは向こうがわの急な下り坂を一気にかけおりた。すると激しい雹の嵐が彼らを見舞った。」（同上）

## 5. 祈り + 行動

- a. 神は創造主の誉れと栄光のために、ご自分の忠実な僕ヨシュアに、どのような驚くべき要求をお与えになりましたか（ヨシュア 10:12-14）。なぜこのお方はそうされたのですか。

「ヨシュアは、山の頂上から見おろしていたが、戦いを完結するには日が短いことに気がついた。もし徹底的に打ち破らなければ、敵はふたたび勢いをもちかえして、戦いをくりかえすだろう。〔ヨシュア 10:12, 13 引用〕。」（人類のあけぼの下巻 134, 135）

「神の霊が、ヨシュアを動かして、イスラエルの神の力の証拠がふたたび与えられるようにと彼に祈らせたのであった。だから、この願いは偉大な指導者ヨシュアの僭越を示したものではなかった。ヨシュアは、神が必ずイスラエルの敵を打ち破られるという約束を受けていたのであったが、あたかも成功はイスラエルの軍勢にのみかかっているかのように熱心に努力した。彼は人間の力のかぎりを尽くしてから、信仰をもって神の助けを求めた。成功の秘けつは神の力と人間の努力の結合である。最高の結果を達成する者は、全能者の腕に絶対の信頼をおく人である。『日よ、ギベオンの上にとどまれ、月よ、アヤロンの谷にやすらえ』と命じた人は、ギルガルの陣営で、何時間も祈りのうちに地にひれ伏していた人である。祈りの人は力の人である。

この偉大な奇跡は、被造物が創造主の支配下にあることの証拠である。」（同上 135, 136）

- b. 神はご自分が自然を支配しておられることを示すために、再び何をなさいましたか（イザヤ 38:7, 8）。このお方は将来何をなされますか（ヨブ 38:22, 23; 黙示録 16:17, 21）。

## 個人的な復習問題

1. わたしはだまされたことがあるでしょうか。もし、そうであれば、どのようにそれを避けることができたはずですか。
2. イスラエル人は、なぜ自分たちをだました人々に対して、真実であり続けたのですか。
3. ギベオン人の物語の中で、どの証拠が嘘は割に合わないことを示していますか。
4. 神はなぜアモリ人に対する戦いにおいてイスラエル人を成功させられたのですか。
5. 神が自然の要素を支配しておられることを示すようなことが将来起こりますか。

## 第一安息日献金 世界災害救済のために

「貧しい者はいつまでも国のうちに絶えることがないから、わたしは命じて言う、『あなたは必ず国のうちにいるあなたの兄弟の乏しい者と、貧しい者と共に、手を開かなければならない。』」(申命記 15:11)。

「あなたの兄弟が落ちぶれ、暮して行けない時は、彼を助け、寄留者または旅びとのようにして、あなたと共に生きながらえさせなければならない」(レビ記 25:35)。



みなさんは、ある日家に帰ってきたら、突然地震やハリケーンや洪水に遭ったということを想像したことがありますか？想像してみてください、一生をかけて築いてきたすべてのものが、数分のできごとで破壊されてしまうことを。毎年、世界中では、幾千もの人々がこの厳しい試練に直面しています—大変な貧困と困窮に陥るのです。これらの群衆の中にはわたしたちの兄弟—教会員—すなわち、わたしたちの家族の一部であり、自然災害の後、自分たちの持っていたすべてのものを失い、新しい生活を始めるのに、支援に頼っている人々がいます。過去一年に、わたしたちはこれらすべてのことに直面してきました—火災、洪水、地震、ハリケーン、火山の噴火でさえ。これらすべてのことにおいて、神がご自分の民を保護し、命と財産を守っておられることを感じます。しかしながら、多くの場合、わたしたちの教会の福祉支部が、食物、水、薬を供給し、家や教会を再建し、収穫を失った家族を支援し、医事的な治療を提供し、そして時には、緊急手術まで提供するための資金を投資してこなければなりません。そのようなとき、自然災害のための世界的な基金として毎年集められる献金からの金銭は、これらの兄弟たちの生活において時宜にかなった恩恵です。わたしたちの捧げ物は、保護、安定、そしてキリストの家族に属しているという励みになる気持ちを提供する助けとして、彼らのもとへ届けることができます。

「苦しんでいる神の子らに奉仕する人々には神の約束が多くある」(教会への証 6 巻)。わたしたちが貧しく困窮している人々を助けるための手を大きく広げるとき、主人なるお方の家族の一部である兄弟に貢献しているのだということを覚えて下さい。一人ひとり最善を尽くしましょう。そして神が大いにわたしたちの生活を祝福し、わたしたちの資源を増し加えて下さることを確信しましょう。なぜなら、わたしたちの金銭は、世界で最も難しい場所で苦しんでいるわたしたちの兄弟の世話をするという大きな価値のあるものとなるからです。

世界総会福祉支部

## 神が戦闘を指揮される

「主がそのしもべモーセに命じられたように、モーセはヨシュアに命じたが、ヨシュアはそのとおりにおこなった。すべて主がモーセに命じられたことで、ヨシュアが行わなかったことは一つもなかった。」(ヨシュア 11:15)

「主はヨシュアに、ご自分がモーセと共におられたように、ヨシュアと共にいると約束された。そしてこのお方は、もし彼がご自分のすべての戒めを遵守することに忠実であるなら、彼がカナンをたやすく征服できるようになさるのであった。」(教会への証 4 巻 156, 157)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 137 ～ 143

日曜日

2月24日

### 1. 恐るべき敵

- a. ベテホロンでの勝利のすぐ後に、カナンの南部に何が起こりましたか (ヨシュア 10:40-43)。

「ベテホロンでの勝利のあと、たちまち、カナンの南部が征服された。」(人類のあけぼの下巻 137)

- b. パレスチナの北部の王たちは、ヘブル国家の得た成功について聞いたとき、何をしましたか (ヨシュア 11:1-5)。

「パレスチナ北部の部族は、イスラエル軍の勝利に恐怖を感じ、これに対抗して同盟を結んだ。この同盟軍のかしらはメロム湖の西側までの地域であるハヅルの王ヤビンであった。『そして彼らは、そのすべての軍勢を率いて出てきた』(ヨシュア 11:4)。この軍勢はイスラエルがこれまでにカナンで遭遇したどの軍勢よりも大きかった。」(同上)

## 2. 忠実な者のための勝利

- a. 主がヨシュアを励まされ、またご自分の忠実な民のために介入された方法から、わたしたちは何を守るべきですか（ヨシュア 11:6-8）。このことから私たちは何を学ぶことができますか。

「ヨシュアは、メロム湖の近くで同盟軍の陣営を襲い、その軍勢を徹底的に壊滅させた（人類のあけぼの下巻 137）

「神はご自分に信頼する人々のために素晴らしいことをなさる。彼らがもはや力がないのは、神の民だと公言する人々があまりにも自分自身の知恵に信頼し、主が彼らのためにみ力を表される機会を与えないからである。このお方は神の信じる子らがご自分に全幅の信頼をおき、絶対的に従うならば、すべての危急時に彼らを助けて下さるのである。」（教会への証 4 巻 163）

「献身した働き人の信仰は、それを試めすためのすべての試みに耐えなければならない。神は、ご自分のしもべたちが必要とするすべての力を、よろこんでお与えることができるし、また、さまざまな必要から彼らの求めている知恵を、お与えることができるのである。神はご自身に信頼する者の最高の期待以上のことを実現してくださるのである。」（患難から栄光へ上巻 261）

- b. 征服された軍の馬や戦車は、どうされましたか。なぜですか（ヨシュア 11:9; 詩篇 20:7-9）。

「カナン人の誇りであり自慢の種であった戦車と馬は、イスラエルのぶんどり品としてはならなかった。神の命令によって戦車は焼かれ、馬はかたわにさせられて戦いの役に立たなくなった。イスラエル人は、戦車や馬に頼らず、『彼らの神、主のみ名』に信頼すべきであった。」（人類のあけぼの下巻 138）

- c. エリコの時と違って、イスラエルは運命の決まった諸都市、家畜、戦利品をどうしましたか。神の指示に従うことにおいて、彼らはどれほど忠実でしたか（ヨシュア 11:10-14）。

「町は次々と攻撃され、同盟軍の要塞ハゾルは焼かれた。」（同上）

### 3. 指定された目標に到達する

- a. カナンの征服において、ヨシュアのとった過程を要約しなさい (ヨシュア 11:18, 19)。

「戦いは数年続いたが、ついにヨシュアはカナンの支配者となった、『こうしてその地に戦争はやんだ』 (ヨシュア 11:23)。」 (人類のあけぼの下巻 138)

- b. 主が、カナンに住む悪い国家をすべて取り除くと約束されたとき、このお方はイスラエルの前にどのようなご計画を示されましたか。このお方は彼らにどのような危険を警告されましたか (申命記 7:21, 22)。

- c. これらの戦闘におけるすべての流血にもかかわらず、人類の全般的な益のために、全能者の目標は何でしたか (申命記 7:23-26)。この暴力的な任務において、神でさえ休止を求められたことを何が明らかにしていますか (ヨシュア 11:23)。

「身体を汚すものは魂をも汚すことになり、これを食する者は神とまじわるには不適当なものとなり、崇高な、きよい奉仕をするにはふさわしくない者となる。

荒野で始められた訓練は、約束の地においても正しい習慣を形成するに適した環境のもとに継続された。都市に密集せず、各家族は自分の土地を所有し、すべての人が自然の正しい生活による健康的な祝福を受けることができた。」 (ミンスリー・オブ・ヒーリング 264)

「しかし、カナン人の勢力は打ち破られたが、彼らは完全に土地から立ちのかされていなかった。西部ではまだペリシテ人が海岸ぞいの肥沃な平野を占領しており、その北にはシドン人の領地があった。レバノンもまたシドン人の領有であった。南部では、エジプトまでの地域がイスラエルの敵によって占領されていた。

しかし、ヨシュアが戦いを続けるのではなかった。」 (人類のあけぼの下巻 138)

#### 4. 必要な任務

- a. あらかじめ地の境界を定めたのはだれですか。地の分配はだれに委ねられましたか (民数記 34:1, 2, 13, 17, 18)。

「この偉大な指導者は、イスラエルの指導から手をひく前にしなければならないことがあった。全地は、征服した土地も、まだ平定していない土地も、部族に割り当てねばならなかった。そして、それぞれの部族が自分たちの嗣業を完全に平定しなければならなかった。もし人々が神に忠実であつたら、神は、彼らの前から敵を追い払ってくださるのであつた。そして、彼らが神の契約に忠実でありさえしたら、もっと大きな所有を与えるであろうと、神は約束された。(人類のあけぼの下巻 138)

「土地の分配は、ヨシュアと大祭司エレアザルおよび部族の首長たちに任せられ、各部族の配置はくじで決められた。モーセは、民がカナンを占領したときに、部族間に分配するように土地の境界を定め、各部族の首長がその分配に参加するように定めておいた。」(同上 139)

- b. それぞれの部族の場所はどうに決められるべきでしたか。そしてそれぞれの大きさに関して、どの決まりに従うべきでしたか (民数記 26:54-56)。

- c. レビ人はどの嗣業を受けましたか (民数記 18:20, 21; 35:1-3, 7, 8)。

「聖所の奉仕に任命されたレビ人には、土地の相続権は与えられなかった。彼らは自分たちのために定められた町々にいっしょに住み、神の奉仕のためにささげられた十分の一やその他のささげ物によって生活を維持した。彼らは民の教師であり、祭礼には招かれて客となり、どこへ行っても神のしもべまた代表者として尊敬された。イスラエルのすべての民につぎのような命令が与えられた。『慎んで、あなたが世に生きながらえている間、レビ人を捨てないようにしなければならない。』『レビは兄弟たちと一緒に分け前がなく、嗣業もない。あなたの神、主が彼に言われたとおり、主みずからが彼の嗣業であつた』(申命記 12:19; 10:9)。」(教育 167)



## 5. 言い訳はない

- a. ヨセフの子らは自分たちの数のゆえにどのような主張をしましたか。ヨシュアはどのように答えましたか（ヨシュア 14:4, 5; 17:14-18）。

『エフライムとマナセ』の部族は人数が多いことから、二倍の地域を要求した。彼らのために指定された土地は最も肥えた土地で、シャロンの肥沃な平野を含んでいた。しかし、谷間の主要な町の多くは、まだカナン人が占領していたので、この部族は彼らの領地を征服するほねおりと危険にしりごみし、すでに平定された地域を余分につけ加えてほしいと希望した。エフライムの部族はイスラエルの最も大きい部族の一つで、また、ヨシュア自身の属している部族であったので、彼らは当然特別な考慮をしてもらう資格があると考えた。『わたしは数の多い民となったのに、あなたはなぜ、わたしの嗣業として、ただ一つのくじ、一つの分だけを、くださったのですか』と彼らは言った（ヨシュア 7:14）。しかしこの妥協することを知らない指導者に、厳格な公正を曲げさせることはできなかった。

彼らの答えは不平の真因を暴露していた。彼らはカナン人を追い払う信仰と勇氣に欠けていたのである。

彼らが主張するように、彼らは強大な民だから、兄弟たちと同じように、自分たちの道を十分に切り開いて行くことができたのである。神の助けによって、彼らは鉄の戦車を恐れるにはおよばなかったのである。」（人類のあけぼの下巻 142 ～ 143）

## 個人的な復習問題

1. 経験したことのあるものよりも大きな敵に直面したとき、何がわたしたちに勇氣を与えるべきですか。
2. わたしは自分の生活において、どのような「戦車と馬」に頼りすぎるかもしれませんか。
3. 神がヨシュアにカナンを征服するように命じられたにもかかわらず、なぜこのお方は休止をお与えになったのですか。
4. もし彼らが契約に忠実であったならば、それぞれの部族に何が約束されていたか。
5. ヨシュアの精神は、自分の部族の人々とどのように違っていましたか。

## カナンにおける初期の生活

「そこでイスラエルの人々の全会衆は、その地を征服したので、シロに集まり、そこに会見の幕屋を立てた。」(ヨシュア 18:1)

「わたしたちが向かっている地は、あらゆる意味において、イスラエルの子らにとつてのカナンの地よりもはるかに魅力的である。彼らは神のみ手によって導かれた。キリストご自身が彼らに家を見いだす国がどこいうところか説明なさった。なぜなら、このお方は彼らの前に、希望と勇気をもって前進するために刺激となるものをすべて起きたいと望まれたからである。…彼らは勇気と継続的な信仰を必要としていた。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1881 年 11 月 29 日)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 130 ～ 149

日曜日

3月3日

### 1. 勇気の人

- a. 土地を分配する前に、カレブはどのように 40 年間から自分の経験を証しましたか (ヨシュア 14:6-9)。彼はどのようにかつて勇気を示していましたか。
- b. わたしたちはカレブに対する神の約束から、何を学ぶことができますか (民数記 14:22-24)。

「疑う人々が不可能を語るときに、彼らが高い城壁と強い巨人を考えて震えるときに、忠実なカレブたち、すなわち『違った心』を持っている人々を前線に出させなさい。神の真理は救いをもたらすが、もし牧師や信徒だと公言する者たちが、不忠実な斥候たちのように、道を塞がなければ、民の前に現れるのである。わたしたちの働きは積極的である。世を警告するために何かがなされなければならない。そして利己的な利益を奨励して伝道地をなおざりにするような声が聞こえることのないようにしなさい。わたしたちは心と魂と声をもって働きに携わらなければならない。精神力も体力も喚起されなければならない。全天はわたしたちの働きに関心を持っている。そして神の御使たちはわたしたちの弱々しい努力を恥じている。」(教会への証 5 巻 380, 381)

## 2. 老兵の信仰

- a. 85 歳のカレブは、どのようなすがすがしい要求をしましたか（ヨシュア 14:10-12）。彼の驚くべき勇気と神への信頼は、わたしたちをどのように鼓舞しますか。

「熱心と精力が集中されなければならない。活動せずにさびつているタラントは奉仕に使われなければならない。『待て、重荷が課されるままにしてはならない』という声は臆病な斥候の声である。わたしたちは今、前戦に押し出るカレブ、すなわち、直ちに行動するよう力強い報告をなす勇敢な言葉をもったイスラエルの首領が欲しいのである。利己的で、安逸を愛し、パニックに陥った民が、背の高い巨人と近寄りたがった城壁を恐れ、退却を叫ぶときに、カレブの声が聞かれるようにしなさい。たとえ、臆病な人々がその手に石を持ち、忠実な証のために打ち倒そうとしていても。」（教会への証 5 巻 383）

- b. カレブの忠実な要求はどのように祝福されましたか（ヨシュア 14:13-15）。

「カレブの信仰は、今も、かつて斥候たちの悲観的な報告と反対のあかしをたてたときと全く同じであった。彼は神がご自分の民にカナンを占領させると言われた約束を信じていた。この点において彼は全く主に従ったのであった。彼は、民と共に荒野での長年の放浪に耐えて、失望と罪の重荷を共に味わった。それでも、彼はそのことについてなんの不平も言わずに、荒野で兄弟たちが滅ぼされたときにも彼を生き長らえさせてくださった神をあがめた。荒野の放浪中の困難と危険と疫病のさなかにも、カナンにはいつてからの戦いの年月の間にも、主は彼を生き長らえさせられた。そしていま、八十才を越えても彼の力は衰えていなかった。彼はすでに征服された土地を自分のために求めず、よりによって斥候たちが征服は不可能と考えた土地を求めた。彼は、イスラエルの信仰をたじろがせた力強い巨人たちから、神の助けによって奪取しようというのである。カレブの願いの動機は、名誉欲や権勢欲ではなかった。この勇敢な老戦士は、神の栄えとなる模範を人々に示し、父祖たちが征服不可能と考えていた土地を征服するように部族を大いに激励しようと熱望していたのであった。」（人類のあけぼの下巻 140, 142）

### 3. 働く信仰

- a. カレブの勇敢な信仰が、老年においてさえ、どのように行いに示されたかを説明しなさい (ヨシュア 15:13, 14)。

「カレブは、四十年間心にきめていた嗣業を手に入れた。そして神が共にいてくださることに信頼して、『アナクの子三人を追い払った』 (ヨシュア 15:14)。自分と自分の一族のために土地を獲得してからも、彼の熱意は衰えなかった。彼は自分の嗣業に安住しないで、国のためと神の栄えのために、征服を拡大して行った。」 (人類のあけぼの下巻 142)

- b. ヨシュアとカレブの経験と不信の斥候たちの経験の結果にあらわれた違いを説明しなさい (民数記 14:30-32; コリント第一 10:5)。

「臆病者と反逆者は荒野で滅びた。しかし、正しい斥候たちはエスコルのぶどうを食べた。おのおのその信仰に従って与えられた。信じない者は、彼らの恐れていたことが実現するのを見た。神の約束にもかかわらず、彼らはカナンを継ぐことは不可能だと断言し、そしてその通りカナンを所有することができなかった。しかし、神に信頼した人々は、遭遇すべき困難を見ないで全能者の力を見、よい地にはいった。」 (同上)

- c. 信仰の力について、神はわたしたちに、何を悟るよう望んでおられますか (ヨハネ第一 5:4)。

「信じる者には万事が可能である。そしてわたしたちが祈るときに願うものは何でも、もしわたしたちがそれらを受けると信じるならば、得るのである。この信仰は暗い雲を突き抜け、光と希望の光線を気持ちに沈み、意気消沈した魂へ届けるのである。困惑、絶望的な恐れ、邪推をもたらすのは、この信仰と信頼の欠如である。神は神の民がご自分が全面的にご自分に信頼するとき、彼らのために大きなことをなさる。」 (教会への証 2 巻 140)。

#### 4. 一致して、重荷を分かち合う

- a. どの部族が、(a) ヨルダン川の東側にいましたか。(b) どの部族がヨルダン川の西側にいましたか。(12 部族の間のカナンの分配を俯瞰(ふかん)するため、聖書地図参照)。(民数記 34:14, 15; ヨシュア 13:7, 8)。

「イスラエルの二つの部族、ガドとルベンは、マナセの半部族と共に、ヨルダンを渡る前に嗣業をもらっていた。牧畜を仕事とする民にとって、羊の群れや家畜にとって、見渡すかぎり牧草地となっているギレアデとバシヤンの広大な高原と深い森は、カナンそのものにも見いだせなかった魅力であった。二部族と半部族はここに定住を希望した。そして、彼らに割り当てられた軍勢で、ヨルダン川を渡る兄弟たちと共に行かせ、彼らがその嗣業を手に入れるまで共に戦わせることを約束していた。この義務は忠実に果たされた。十部族がカナンにはいったとき、『ルベンの子孫とガドの子孫、およびマナセの部族の半ばは、……戦いのために武装し、……主の前に渡って、エリコの平野に着いた』(ヨシュア 4:12, 13)。何年もの間、彼らは兄弟たちの側に立って勇敢に戦ってきた。今、彼らの嗣業の地にはいるときが来た。彼らは兄弟たちと共に戦い、戦利品も共にしてきた。彼らは『多くの貨財と、おびたしい数の家畜と、金、銀、青銅、鉄、および多くの衣服を持って天幕に帰り』、それらを家族や羊群と共に残った人々に分け与えた(ヨシュア 22:8)。(人類のあけぼの下巻 148, 149)

- b. 国家の本部はどこでしたか(ヨシュア 4:19; 10:6 (上句))。

『カナンにおける始めの野営』でヨシュアは、『イスラエルの人々に割礼を行なった。』『イスラエルの人々はギルガルに宿営し……過越の祭を行なった』…『きょう、わたしはエジプトのはずかしめを、あなたがたからころがし去った』と主はヨシュアに言われた。そして、このために、彼らの宿営の場所は、ギルガル、すなわち『ころがし去』と呼ばれた。(人類のあけぼの下巻 106)

## 5. 新しい本部

- a. ヨセフの子らの主張が落ち着いたあと、幕屋はどこへ移されましたか（ヨシュア 18:1, 10）。なぜでしょうか。どれくらいの間、そこにいましたか。

「それまで、ギルガルが国家の本部であり、幕屋の所在地であった。しかし、今、幕屋はその恒久的な所在地として選ばれた場所へ引っ越すことになった。それは、エフライムの土地にある小さな町シロであった。シロはカナンの地の中央に近く、どの部族にとっても都合のよい場所だった。国のこの部分は完全に平定されていたので、礼拝者たちは妨害される恐れがなかった。〔ヨシュア 18:1 引用〕。幕屋がギルガルから引っ越したとき、まだ宿営していた部族はそれと一緒に移動して、シロの近くに営を張った。それから自分たちの嗣業の土地に散って行くまで、これらの部族はここにどまつていた。

契約の箱は、シロに 300 年間とどまっていたが、ついにエリの一家の罪のためにベリシテ人の手に落ち、シロも滅ぼされた。契約の箱はふたたびこの幕屋にもどることなく、聖所の奉仕はついにエルサレムの神殿に移され、シロは忘れ去られた。」（人類のあけぼの下巻 143, 144）

- b. シロにおいてどの価値ある儀式が制定されましたか（士師記 21:19）。

「イスラエルの祭典は、教育の一手段として、重要な立場を占めていた。日常生活においては、家庭が学校であり、また教会であって、両親は世俗のことにも宗教的な面にも教師であった。しかし一年に三回、社交的な交際と礼拝のためにある期間が定められていた。この集会は、初めはシロで、後にはエルサレムで催された。」（教育 35）

## 個人的な復習問題

1. 神はなぜ、カレブは約束の地にふさわしい「違った心」を持っていたと言われたのですか。
2. わたしたちはどのようにしてヨセフの子らよりもカレブに似た態度を発達させることができますか。
3. わたしたちは信仰について、もしかしたら以前は認めていなかった何を悟る必要がありますか。
4. ヨルダン川の東側の部族はどのような種類の信仰を働かせましたか。
5. シロという場所によって得た祝福のいくつかを挙げなさい。

## 誤解を取り扱う

「怒りをおそくする者は大いなる悟りがあり、気の短い者は愚かさをあらわす。」(箴言 14:29)

「まちがった立場から、非難や譴責によって救われた者はない。」(人類のあけぼの下巻 151)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 148 ～ 152

日曜日

3月10日

### 1. 強大な川を渡って

- a. ルベン、ガド、そして半マナセの部族の子らはみなヨルダン川の東側に位置していました。聖所からそれほど離れていたことに伴い、どの問題がありましたか (ヨシュア 22:10)。

〔これらの部族〕はこれから主の聖所から遠く離れたところに住むのであった。ヨシュアは、彼らが孤立して放牧の生活を送るときに、彼らの境界付近に住んでいる異教の部族の慣習に陥る誘惑が強いことを知って、彼らのことを気づかいながら、その出発を見送った。

ヨシュアやその他の指導者たちが、まだ不安な予感に襲われていたとき、奇妙な知らせがとどいた。ヨルダン川のほとりで、イスラエルが奇跡的に川を渡った場所の近くに、二部族半の人々が、シロの燔祭の祭壇に似たような大きな祭壇を建てたというのであった。」(人類のあけぼの下巻 149)

- b. 残りの部族はどのように反応しましたか。それはなぜですか (ヨシュア 22:11, 12)。

「神の律法には、聖所以外に礼拝の場所を設けることは死刑をもって禁じられていた。もしその祭壇の目的がこのようなものであったら、そのままにしておけば、人々を真の信仰から離れさせることになるだろう。」(同上)



## 2. 憤激を冷ます

- a. 二つと半分のヨルダンの東側にいる部族が祭壇を築いたとき、どのような冷静な方法が、他の人々の最初の反応を冷ましたか（ヨシュア 22:13, 14）。

「民の代表者たちはシロに集まり、激しい興奮と義憤のうちに、すぐに違反者たちと戦うことが提案された。しかし、慎重派の説得によって、まず代表団を送って二部族半の人々から彼らの行為についての説明を求めることにした。各部族から十人のつかさが選ばれた。そのかしらはピネハスで、彼はペオルの問題で特に熱心だった人である。」（人類のあけぼの下巻 149）

- b. 東の部族になされた嘆願を説明しなさい（ヨシュア 22:15-18）。

「二部族半の人々が、なんの説明もしないで、このように重大な疑惑を招く行為をしたことは、彼らの過失であった。代表者たちは、この兄弟たちがまちがっていることはもちろんのこととして、鋭い譴責をもって彼らに迫った。代表者たちは、彼らの行為は主に対する反逆であると言って責め、イスラエルがバアル・ペオルに加わったとき、どのように刑罰がくだったかを思い出すようにと告げた。」（同上 149, 150）

- c. ピネハスはどの経験に言及しましたか（民数記 25:1-9）。彼が自分の兄弟たちに表した精神から、わたしたちは何を学ぶべきですか（ヨシュア 22:19）。

「ピネハスは、ガドとルベンの子孫に、もし彼らがいけにえをささげる祭壇のない土地に住みたくないのだったら、こちら側の兄弟たちの所有と特権をよこんで分けるつもりだと述べた。」（同上 150）

「わたしたちは、人の思いを扱うのに良い愛情のある宗教と神聖な知恵を必要としている。こうして、寛容と教理をもって非難、譴責、強く勧めるだけでなく、誤った者をわたしたちの信仰のかいなのの中に入れ、彼らをキリストの十字架に担うのである。」（原稿リ-ス 16 巻 339）

### 3. 共に論じる

- a. ヨルダン川の西側の部族は、ヨルダン川の東側に築かれた祭壇に関して、どのような深刻な比較をしましたか（ヨシュア 22:20）。正しいことのための彼らの誤った熱心さから、わたしたちは何を学ぶことができますか。

「すべてのクリスチャンは、二つの極端を避けるために注意を働かせるべきである。一つは罪を扱う際のゆるさであり、もう一つは厳しい裁きといわれのない疑いである。ガドとルベンの人々に反対して大変な熱心さを表したイスラエルの人たちは、アカンの裁判の時に、神が自分たちの間に存在する罪を発見するのに警戒が足りなかったことをどのように譴責されたかを覚えていた。そのとき彼らは、将来は迅速に熱心に行動することを決心した。しかし、こうしようとするあまり、彼らは反対側の極端へ行ってしまった。自分の兄弟たちに非難をもって対応する代わりに、彼らはまずこの場合のあらゆる事実を知るために礼儀正しく尋ねるべきであった。」（SDA パイブル・コメント [E・G・ホフ・コメント] 2 卷 999）

- b. ルベン、ガド、マナセの半部族の子孫は、ヨルダン川の東側の祭壇のために自分たちの理由をどのように説明しましたか（ヨシュア 22:21-29）。

「二部族半の人々は、彼らの祭壇はいけにえをささげるためのものではなくて、川によって分けられてはいるけれども、彼らもカナン兄弟たちと同じ信仰であるという証拠にすぎないのだと説明した。将来彼らの子孫が、イスラエルと関係のない者として幕屋から除外されるのではないかと彼らは恐れたのであった。もしそういうことになったら、この祭壇は、シロの主の祭壇に型どって造られているので、これを建てた人々も生きた神の礼拝者であるという証拠になるというのであった。」（人類のあけぼの下巻 150）

- c. 論じるという方法は、どのように成功しましたか（ヨシュア 22:30, 31）。

「代表団は、この説明を非常な喜びをもって受け入れ、すぐにその知らせを、彼らを派遣した人々のもとへ持ち帰った。戦う気持ちは消え去り、人々は喜んで一致し、神をほめたたえた。」（同上）

#### 4. 冷静さのうちにある知恵

- a. ヨルダンの東に祭壇を持つことにおいて、彼らの意図は尊ぶものであることを示すために、ガドとルベンの子孫は何をしましたか（ヨシュア 22:34）。

「ガドとルベンの子らは、今その祭壇の上に、それが建てられた目的を示す碑文を刻んだ。それには、『これは、われわれの間にあって、主が神にいますというあかしをするものである』と書かれた（ヨシュア 22:34）。こうして彼らは将来の誤解を防ぎ、誘惑のもとになりそうなものをとり除くことに努力した。」（人類のあけぼの下巻 150）

- b. 部族の間のこの経験から、わたしたちはどのような賢明な教訓を学ぶべきですか（箴言 14:17, 29; ヤコブ 1:19）。

「最も価値のある動機に動かされている人々の間でさえ、ちょっとした誤解から重大な問題がなんとよく起こることであろう。そして、礼儀と寛容が実行されないときに、なんという重大で致命的になりかねない結果が起こり得ることであろう。…

自分自身の行為についてのちょっとした非難にも敏感であるにかかわらず、まちがっていると思われる人をあつかうのはきびしすぎる人が多い。」（同上 150, 151）

「闇の権力はすべての魂を攻撃する。しかし、わたしたちは悪者と一緒になってその働きに加わり、弱い誤りに陥った人を厳しく扱って失望させ意気消沈させることがないようにしよう。互いに憐れみ深く、同情深くなり、傷つけ、根こそぎにするよりもむしろ、癒やし、包み、確立させる感化がわたしたちから出て行くようにしよう。あまりにも急ぎすぎる…そしてしばしばわたしたちが正義だと考えることを、主はご自分の書に圧迫と記されるのである。…互いに愛し、親切で礼儀正しくあろう。」（ビュー・アンド・ヘアル 1893 年 10 月 24 日）

- c. わたしたちが自分の兄弟を扱うとき、他にどの原則を心に留めておくべきですか（コリント第一 13:4; エペソ 4:32）。

「あなたの人類同胞と行うあなたのすべての取引において、神の財産を扱っているのだと言うことを決して忘れてはならない。親切でありなさい、情け深くありなさい、礼儀正しくありなさい。神の買われた所有物を尊重しなさい。互いに優しさと礼儀をもって扱いなさい。」（今日のわたしの生涯 235）

## 5. 誤って非難されたとき

- a. わたしたちが誤って非難されたとき、何を思い出すべきですか。わたしたちはどの態度を取るべきですか（ペテロ第一 2:19-24; 4:14-16）。

「ルベン人とその仲間たちが示した知恵は、まねる価値がある。彼らは真の宗教運動を推進させようとまじめに努力していたのに、あやまって判断され、譴責されたが、怒りを表わさなかった。彼らは自己弁護を試みる前に礼儀をもって忍耐強く兄弟たちの非難に耳を傾け、それから自分たちの動機を説明し、悪意がないことを示した。こうして、重大な結果をはらんだ問題が友好的に解決された。

まちがって非難されても、正しい人は冷静で思慮深い態度をとることができる。神は、人から誤解され、まちがったことを言われていることを全部ご存じであるから、問題を神のみ手にまかせて安心していることができる。神は、アカンの罪をさぐり出されたのと同じように確実に、ご自分に信頼する人の主張を弁護してください。キリストの精神に動かされている人は、寛容で情け深い愛の心をもつのである。」（人類のあけぼの下巻 151）

「もしすべての人が、誤って非難されたときに、逆襲を避けて、その代わりに穏やかな和解の言葉を用いるならば、どれほどの悪を回避できることであろう。そして同時に、罪に反対するのに熱心なために不正な疑いにふけってきた人々は、いつも自分の兄弟たちについて最も好ましい見方をしようと努め、彼らに罪がないことがわかったら喜ぶべきである。」（サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 5 月 12 日）

## 個人的な復習問題

1. 遠隔地にいる教会員たちは、特にどの危険にさらされていますか。
2. 他の人々を扱う際に、より冷静な方法のほうがより良い結果を生むことのできる時に、どの模範を思い起こしますか。
3. キリストの精神で正直で率直な交流は、なぜいつも効果を生むのですか。
4. わたしが過ちに陥っていると思う人々に近づくとき、どの態度をもっているべきですか。
5. わたしが誤って非難されていると感じるとき、どの知識が、自分の事情を神のみ手にお委ねするよう導きますか。これはわたしの思いのあり方にどのように影響しますか。

## のがれの町

「主はしえたげられる者のとりで、なやみの時のとりです。」(詩篇 9:9)

「古代の神の民に定められたのがれの町は、キリストのうちに備えられているのがれを象徴している。(人類のあけぼの下巻 147)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 144 ～ 148

日曜日

3月17日

### 1. 情け深い措置

- a. 誤って他の人を殺してしまった人々のために、どのような措置が取られましたか(民数記 35:9-12; ヨシュア 20:1-3)。
- b. いくつの逃れの町が定められましたか。どこですか(民数記 35:13, 14)。
- c. これらの町はなぜ必要でしたか。だれのために必要でしたか(民数記 35:15)。

「この情け深い措置は、昔、個人的に報復する慣習があったために必要となったのである。すなわち、殺人者の処罰は、遺族の一番近親の者が跡継ぎの者にまかされていたのである。有罪が明瞭な場合には、役人の裁判を待つ必要はなかった。報復者は犯人をどこでも追跡して、見つけ次第殺してよかった。主は当時この慣習を廃止することを適当と思われなかった。そこで、故意でなく、人を殺した者の安全を保証する道を講じられたのであった。」(人類のあけぼの下巻 145)

## 2. のがれの町までの道

- a. のがれの町の配置とそれらを利用するための手続きを説明しなさい（ヨシュア 20:4-6）。故意の殺人者と誤って人を殺してしまった人々との間は、どのような区別がなされていたか（民数記 35:16-24）。

「のがれの町は、国のどこからでも半日で歩いて行けるところに配置されていた。町へ通じる道はいつも手入れが行きとどいていて、道のいたるところにはっきりと太い字で『のがれ』という言葉が書かれている道しるべが立てられていて、逃げて行く人が一刻も遅れることがないようになっていた。ヘブル人でも、他国人でも、滞在者でも、だれでもこの町に逃げるのができた。しかし無罪の人が早まって殺されることがなかった一方、有罪の人は処罰をまぬかれることができなかった。のがれてきた人の事件は当局者によって公平な審判を受け、故意の殺人でなかったことが判明したときだけ、のがれの町の中で保護されるのであった。」（人類のあけぼの下巻 145, 146）

- b. 殺人のための裁判では何が決まりでしたか（民数記 35:30）。証人の人数に関しては、新約でもどの規則が繰り返されていましたか（マタイ 18:16；テモテ第一 5:19）。なぜこれがそれほど重要ですか。

「個人的な恨み、あるいは個人的な優位の見込みが幾千もの無実な人々の評判と有用性を損なってきた。…ひとりの人は偏見、利己心、あるいは悪意によって支配されるかもしれない。しかし、ふたりやそれ以上の人が偽りの証言を担うのに結束するほどゆがめられることはあまりない。もしそうしたとしても、個別に吟味するなら真実が現れるようになるものである。

この憐れみ深い備えには時の終わりに至るまで神の民にとつての教訓が含まれている。これらのヘブルの万軍のための明確な指示をモーセにお与えになったのはキリストであられた。そして地上において自らご自分の弟子たちと共におられたとき、偉大な指導者なるお方は、誤った人をどのように扱うべきかを彼らにお教えになった際に同じ教訓を繰り返されたのである。ひとりの人の証で放免したり、責めたりしてはならなかった。ひとりの人の見解や意見が、真偽を問われている問題を解決するべきではなかった。…神は互いに従うことをご自分の僕たちの義務となさった。だれかひとりの判断が重要な問題において支配すべきではない。相互の心遣いと尊重が牧会に適切な尊厳を与え、神の僕たちを愛と調和の緊密なきずなのうちに一つにするのである。」（サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 1 月 20 日）

## 3. のがれの町の象徴

- a. どの条件に基づいて逃亡者は復讐者から保護されましたか。いつ彼は自由に家に帰ることができましたか (民数記 35:25-32)。
- b. 罪のための死からのがれる、わたしたちののがれの町はだれですか (詩篇 9:9; ローマ 8:1)。

「この世ののがれの町をお定めになった情け深い救い主が、ご自身の血を流すことによって、神の律法を犯した者に確実なのがれの道をお備えになっているのである。彼らはそこに逃げ込んで第二の死から守られることができるのである。ゆるしを求めて彼のもとに行く魂を、どんな権力も彼の手から引き離すことはできないのである。」(人類のあけぼの下巻 147)

- c. キリストはどのようにご自分のうちにのがれるよう、わたしたちに強く勧めておられますか(コリント第二 6:1, 2; ヘブル 10:26, 27)。これはのがれの町を通して、どのように描写されていますか。

「もし逃亡者が自分の命のために逃れるとすれば、一刻も遅らせてはならなかった。家族も職業も後にしなければならなかった。愛する人々に別れを告げる時間はなかった。自分の命がかかっているのであり、他の関心はみな一つの目的のために一のがれの町にたどりつくために犠牲にされなければならなかった。疲労を忘れ、困難を心に留めない。彼はのがれの町の城壁の中で安全になるまでは、一瞬も自分の歩調をゆるめないものであった。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881年1月20日)

「わたしたちは終わりの時に生きており、サタンは今、巧妙な誘惑をもってイエスを信じている人々を打ち負かすために巧みな力で働いている。しかし、わたしたちは『神の力により守られて』いなければならない。であるから、誘惑にあつて、信じる魂を守ることがおできになり、またそうして下さる神に栄光を帰しなさい。そうすれば邪悪な敵に打ち負かされることがない。…

狡猾な欺瞞者は告発者、偽り者、悩ます者、そして殺人者であることを表してきた。しかし、彼が他の人々を導いてあなたに関して何を言わせたとしても、主は彼にペテロに対して言われたように言うことがおできになる、『サタンよ、引き下がれ』。このお方は彼に次のように言うことがおできになる、『この魂とわたしとの間に入つてはならない。あなたはわたしとわたしが贖い代のために死んだ魂の間に入り込んではいない』。(上を仰いで 42)



#### 4. 命の神聖さ

- a. 神は流血をどのようにご覧になりますか (民数記 35:33, 34)。
- b. だれかが殺されていることが見つかったら、どの儀式が行われましたか (申命記 21:1-9)。これは罪に対する神の憎しみと、人の命に対するこのお方の尊重について何を教えますか。

「もっとも勤勉な調査でも殺人者を発見できなかった場合、役人たちはこの厳粛な儀式によって自分たちが犯罪を忌み嫌うことを示さなければならなかった。彼らは不注意や怠慢をもって、有罪者の行為を考えてはならなかった。彼らのすべての行為において、彼らは罪に汚染する感化力があることを示すのであった。すなわち、それはあらゆる可能な手段によって悪を行う者を正義に連れてこようとしなすすべての地、すべての人の上にしみを残すのである。神は、何かの怠慢の行為によって有罪者をかくまう人々をご自分の敵と見なされる。彼らはこのお方の御目に、罪人の邪悪な行為にあずかる者なのである。…

罪は偽りの名で呼ばれ、もっともらしい言い訳と見せかけの良い動機によってとりつくろわれるかもしれない。しかし、これが神の御目にその罪深さを減じることはない。どこでそれが見いだされようとも、罪は神にとって忌むべきものであり、確かにそれに応じた刑罰を受けるのである。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881年1月20日)

- c. 神の御目に他に何が殺人と見なされますか (ヨハネ第一 3:15)。

「命を縮めるすべての不正行為、憎しみとふくしゅうの精神、また、他を傷つける行為を行なわせたり、他が傷つくことを望んだりさせる悪感情を心にいだくこと、(なぜなら、すべて兄弟を憎む者は人殺しだからである) 利己的精神をいだいて、貧者や苦しむ者を顧みないこと、健康を害するすべての放縦、また、不必要な消耗、過労に陥ることは、程度の差こそあっても、すべて第六条の違反である。」(人類のあけぼの上巻 360)

「憎悪と復讐(しゅう)の精神はサタンから出、この精神がサタンに神のみ子を殺害させたのである。だれでも悪意や冷酷な心を抱く者は、これと同じ精神を抱いているのであって、その実は死に至らせるものである。」(祝福の山 70)

## 5. のがれの町を求めるすべての人のための希望

- a. 今日、わたしたちののがれの町のために、どのような備えがなされてきましたか(ヨハネ 10:14, 15)。

「この世ののがれの町をお定めになった情け深い救い主が、ご自身の血を流すことによって、神の律法を犯した者に確実なのがれの道をお備えになっているのであって、彼らはそこに逃げ込んで第二の死から守られることができるのである。ゆるしを求めて彼のもとに行く魂を、どんな権力も彼の手から引き離すことはできないのである。……

罪人は、キリストのうちにかくれ場を見いだすまでは永遠の死にさらされている。のがれる者は、ぶらついたたり、軽率であったりすれば生きる唯一の機会が失われるかもしれない。同じように、ぐずぐずしたりむとんちゃくであったりすることによって魂は滅びるかもしれないのである。大敵サタンは、神の聖なる律法を破る人のあとを追っている、自分の危険に気づかないで、永遠ののがれの町の中に保護を熱心に求めようとしない人は、この破壊者の手に陥るであろう。」(人類のあけぼの下巻 147, 148)

- b. 教会はこの過程において、どの役割を持っていますか(ヨハネ 10:16)。

「教会は神が反逆した世に持つておられる神のとりでであり、神ののがれの町である。」(患難から栄光へ上巻 3)

「神の霊は罪人に真理を悟らせ、このお方は彼らを教会のかいなのの中に置かれる。牧師たちは自分の役割を果たすかもしれない。しかし、彼らは教会がなすべき働きをなすことは決してできない。神はご自分の教会に、信仰と経験において若い人々を大事に育てるように要求しておられる。噂話をするためではなく、祈り、彼らに『銀の彫り物に金のりんごをはめたよう』な言葉を語るために彼らの所へ行くことを求めておられる。」(教会への証 4 巻 69)

## 個人的な復習問題

1. だれがのがれの町を設立しましたか。何の目的のためですか。
2. どんな裁判でも、二人あるいはそれ以上の証人がいることがなぜ非常に重要なのですか。
3. のがれの町へ行くのに急ぐ必要があることから、わたしたちは何を学ぶべきですか。
4. これらの町は神の憐れみと正義について、わたしたちに何を教えますか。
5. いつキリストはわたしたちにとってたしかなのがれの町であられますか。わたしはどのようにして他の人々がこれを見いだすことを助けることができますか。

## ヨシュアの最後のメッセージ

「あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい。ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。」(ヨシュア 24:15)

「あなたはまだ真理を通して聖化されることができる。あるいは自分が選ぶならば、不信という闇の中を歩き、天を失い、またすべてを失うことができる。光のうちに歩み、神の御旨を行うことによって、あなたは自分の利己的な性質を克服することができる。」(教会への証 4 巻 214)

推奨文献： 人類のあけぼの下巻 153 ～ 158  
教会への証 5 巻 361-368

日曜日

3月24日

### 1. 厳粛な集まり

- a. ついにイスラエルはしばらくの間、どのような状態を享受しましたか。そのとき、ヨシュアは民に何を思い起こさせましたか (ヨシュア 23:1-4; 24:11-13)。
- b. ヨシュアは彼らにどの保証を強く勧めましたか (ヨシュア 23:5-10)。彼らに求められた責務から、わたしたちは何を学ぶべきですか。

「〔民は〕神が完全な破滅へと定められた偶像礼拝国家といかなる同盟を結んでもならなかった。彼らは異教の神々に対してわずかな敬意でも表すことを禁じられていた。…彼らは偶像礼拝と親しむとそれに対する嫌悪感をなくしてしまい、彼らを神のご不興にさらすことになる」と警告された。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 5 月 19 日)

「もしわたしたちが世の事柄を愛し、不義を楽しんだり、実を結ばない闇のわざと交わったりするなら、わたしたちは自分の悪というつまずきの石を自分たちの顔の前に置き、自分たちの心の内に偶像と打ち立てるのである。そしてそれらを取り除くという断固とした努力がなされない限り、わたしたちは決して神のむすこ娘とみなされることはない。」(教会への証 5 巻 164)

## 2. 離婚に対する警告

- a. ヨシュアは神の民が偶像礼拝へとすべりこむ可能性を減じるのを助けようと、どの警告をかぎになる要因として与えましたか（ヨシュア 23:11-13）。
- b. クリスマン時代にも、この厳肅な警告はどのように繰り返されていますか（コリント第二 6:14-18; コリント第一 7:39）。

「自問しなさい。『不信者の夫はわたしの思想をイエスから導きそらせてしまうのではないだろうか。彼は神を愛するよりも娯楽を愛する者である。彼はわたしも自分が楽しむものを楽しむようにと導くのではないだろうか』。永遠の命への道は、急であり、けわしい。あなたの前進に遅らせる余計な重荷を加えないようにしなさい。

...

神の子として、キリストの王国の臣民として、このお方の血で買われたものとして、あなたはどのようにしてこのお方のご要求を認めない者、このお方の御霊によって支配されていない者と自分を結びつけることができるであろうか。…あなたの選ぶ連れ合いがどんなに他の面で価値があるとしても（ないのであるが）、彼はこの時代のための真理を受け入れない。彼は不信者である。そうであれば、あなたは天から彼と一つになることを禁じられている。あなたは自分の魂を危険に陥れることなく、この神聖な命令を無視することはできない。

わたしは遅すぎないうちに、あなたに危険を警告したい。あなたはなめらかな心地よい言葉を聞き、すべてが良好であると信じるように導かれている。しかし、あなたはこれらの美しい言葉を出させる動機を読みとっていない。あなたは心の中に隠されている悪の深さを見ることができない。あなたは光景の背後を見て、サタンがあなたの魂のためにしかけているわなを見極めることができない。彼はあなたを導いて、自分の誘惑の矢をあなたに向けるのに接近しやすい道を行かせようとしている。神がご自分の僕たちを動かしている一方で、サタンは不従順の子らを通して働いている。キリストとベリアルの間には何の一致もない。二つは調和することができない。不信者とつながることは、自らをサタンの陣地に置くことである。あなたは神の霊を悲しませ、このお方の保護を捨てるのである。あなたは永遠の命のための戦いをたたかうのに、自分自身に対してこのような恐ろしい確率を背負い込む余裕があるであろうか。…

あなたには獲得すべき天国があり、避けるべき滅びへ至る開かれた道があることを覚えていなさい。神が言われたことはその通りを意味している。」（教会への証 5 巻 363-365）

### 3. 神への従順な愛

#### a. なぜ不適切な愛情は問題なのですか（イザヤ 5:18-21; コロサイ 3:5, 6）。

「今日、神の民を攻撃する最大の危険の一つは、不信者との交わりである。特に自らを不信者との結婚において結びつけることである。多くの人々は、人間への愛が、神への愛をかすませてしまう。彼らは主の表明された命令をあえて無視することによって背信への第一歩を踏み出す。そして完全な背教が往々にしてその結果なのである。神のご要求に反対して自分自身の意志を実行することが、人にとって危険なことであることがいつも証明されてきた。…

概して、キリストを否定し、神の律法を踏みにじる人々を自分の友、あるいは連れ合いとして選ぶ人々は、最終的に同じ思いと精神になる。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 2 巻 1000)

「クリスチャン世界に、クリスチャンの不信者との結婚に関する神のみ言葉の教えに対して驚愕すべき憂慮すべき無関心が存在する。…他のことでは敏感で良心的な男女が勧告に耳を閉じる。彼らは友人や親戚や神の僕たちの訴えや嘆願に対して耳が聞こえない。…そして忠告を口にするほど忠実な友人は敵として扱われる。これらはみなサタンが望んでいることである。彼は自分の呪文を魂の周りに編み込み、魂は魔法をかけられ、夢中になる。理性は欲という首の上につけられた自制の手綱を手放してしまい、聖化されていない情欲が支配権を握り、遅すぎるときに犠牲者が悲惨とくびきの生涯に目覚めるに至るのである。」(教会への証 5 巻 365, 366)

#### b. ヨシュアが提示した因果関係の現実を説明しなさい（ヨシュア 23:14-16）。

「人の救いのための神のご計画は、すべての詳細まで完全である。もしわたしたちが忠実に自分たちに割り当てられた分を果たすなら、万事はわたしたちにとって良好である。不調和を生じさせ、悲惨と破滅をもたらすのは、人の背信である。神は決してご自分の力を、ご自分のみ手による被造物を圧迫するためにお用いになることはない。このお方は人が実行できる以上のことを要求なさることはない。決して、ご自分の不従順の子らを悔い改めに導くのに、あるいは他の人々が彼らの例に倣うのを防ぐのに必要な分を越えて罰せられることはない。神に対する反逆は弁解の余地がない。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 5 月 19 日)

#### 4. 神を選ぶ

- a. ヨシュアはどのような訴えをしましたか(ヨシュア 24:1, 14, 15)。これはわたしたちをどのように鼓舞しますか。

「偶像礼拝は、なお、ある程度まで、ひそかに行なわれていた。それでヨシュアは、彼らに決心を促して、イスラエルから、この罪を除こうとしたのである。」(人類のあけぼの下巻 156)

「もし神の恩寵に何か価値があるとすれば、それはすべての価値がある。このようにヨシュアは決心した。そしてすべてのことを量った後で、彼は心の決意に満ちて、神に仕えることを決めた。そしてそれだけでなく、彼は自分の家族が同じ道をたどるように説得するために努力するのであった。…

ヘブルの万軍にしばしば繰り返された偶像に対する警告は、わたしたちにも同様に当てはまる。神から愛情を引き離すものはすべて偶像であり、わたしたちを罪へ売る。もしわたしたちが自発的に喜んで神に仕え、このお方の奉仕を、罪とサタンの奉仕よりも選ぶならば、もしこのお方を選んで、公に大胆に世のあらゆる魅力や虚無に背を向けるならば、わたしたちはこの世の生涯においてこのお方の祝福を享受し、将来の生涯において永遠にこのお方のご臨在のうちに住むのである。

主なるわたしたちの神はねたむ神であられる。このお方は正しく、聖なるお方である。軽くあしらわれるお方ではない。このお方は欺瞞的な心を読まれる。このお方は二心を忌み嫌われる。このお方は生ぬるいことを憎まれる。わたしたちは神と富に兼ね仕えることはできない。なぜなら、それらは敵対するからである。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881年5月19日)

- b. 神はイスラエルの人々の弱さについて、何を自分で気づくように望まれましたか(ヨシュア 24:16-20)。わたしたちは何か違いますか。

「真の改革が伴われるに先だって、人々は、自分たちの力だけでは、神に従うことが全く不可能であることを自覚しなければならなかった。……彼らが自分自身の力と義にたよっているかぎり、罪の許しを得ることは不可能であった。彼らは、神の完全な律法の要求を満たすことはできず、神に仕えると誓ってもむだであった。ただキリストを信じる信仰によってのみ、罪の許しが与えられ、神の律法に従う力を受けることができるのである。彼らが神に受け入れられようとするならば、自分の力にたよって救いを得ようとするのをやめ、約束の救い主の功績に全的に信頼しなければならない。」(人類のあけぼの下巻 157)

## 5. 顕著な勝利

- a. イスラエルは、神のご覧になる中、ヨシュアの前で、どのような顕著な誓いをしましたか。この誓いの記念として何がなされましたか（ヨシュア 24:21-27）。
- b. ヨシュアの生涯の最後の期間は、どのように神への献身によって満ちていましたか（ヨシュア 24:29-31）。彼らの経験が揺れたとき、民は譴責の下にあってどのように反応しましたか（士師記 2:1-5）。

「ヨシュアの聖なる品性には何のしみもなかった。彼は賢明な指導者であった。彼の生涯はすべて神へ捧げられていた。…

ヨシュアは全イスラエルに愛され、尊敬された。そして彼らは彼の死を大いに悲しんだ。」（預言の霊 1 巻 351, 352）

「〔士師記 2:1, 2 引用〕。民は悔悟と悔い改めのうちに神の御前にひれ伏した。彼らは犠牲を捧げ、神へまた互いに罪を告白した。彼らの捧げた犠牲はもし彼らが真の悔い改めを示していなかったならば何の価値もなかった。彼らの悔い改めは本物であった。彼らが自分の罪を告白し、犠牲を捧げたときに、彼らの心のうちにキリストの恵みが働き、神は彼らをお許しになった。

リバイバルは本物であった。それは民の間に改革をもたらした。彼らは自分たちがなした契約に忠実であり続けた。民はヨシュアの日の全期間、またヨシュアより長く生きた長老たちの日の全期間にわたって主に仕えた。彼らは主の大いなるみわざを見てきた人々であった。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 2 巻 1001）

## 個人的な復習問題

1. 神の民はどの条件に基づいて、ご自分の特別な保護を享受しましたか。
2. 人が不信者と結婚するよう誘惑されるとき、何が起きますか。
3. 不信者に夢中になっている人と論じるのは、なぜ非常に難しいのですか。
4. 偶像礼拝に滑り込むことに対して、人の性質はどれくらいあてになりますか。それはなぜですか。
5. ヨシュアの指導の時代を、何がイスラエルの歴史において傑出したものとししましたか。



# 第一安息日献金



1月5日

ジンバブエ西フィールド本部  
のために (4 ページ参照)

2月2日

ザンビア連合ミッション  
本部のために  
(25 ページ参照)



3月2日

世界災害救済のために  
(46 ページ参照)

